

公益社団法人調布青年会議所
理 事 長 報 告

2012 年度 理事長 三ツ木 秀章

2012 年度の公益社団法人調布青年会議所として、外的な内容においては、昨年度に東京都より認定を受けた公益法人格を 1 月 4 日付けにて登記し、公益社団法人として法人格を移行し新たなスタートを切りました。法人格の移行に伴い財務管理と公益事業と共益事業の厳密な区分け、それらの事業比率について意識しながら組織運営をする必要があります。しかし、我々調布 JC が永年積みかねてきた役割は「明るい豊かな社会の実現」であり「社会の前向きな変化の創造」の不変的な志です。その為、根本的な運動（事業）に大きな変化はなく、公益法人格を持つ青年会議所として、これからも更に志を高く運動を展開する組織でありつづけると感じています。また、本年度東京ブロック協議会が推進した LOM の壁を越えたユニット事業も「東日本大震災 慰霊祭」などの幾つかの運動をおこなう事が出来、1 つの青年会議所では成しえない事業をおこなった事で、青年会議所運動の可能性を実体験し、これからの運動に良い影響を与えようと考えます。

LOM 内の組織においては、まずは 2 年後・3 年後の調布 JC を見据えての会員拡大の成功が大きな成果です。16 名の新たなメンバーが入会し、それぞれのメンバーが志高く、今後の調布 JC の中心を担って頂けるであろう人財となる事が期待できます。2013 年度はその内の 2 人を含めた 4 人が公益社団法人日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会の運営役員となり、その他の数名は LOM での理事になりました。これらのことは 2013 年度に貴重な経験を積み、未来に繋がる 2014 年度以降の調布 JC の更なる発展に大いに期待が出来ることと思います。また、本年度に副委員長を担った理事が来年度には LOM の委員長や執行部理事を担うことになったことも本年度のメンバーの成長を感じる所でもあります。そんな LOM メンバーの成長を感じるなか、渡邊弘樹君が東京ブロック協議会 42 代会長の重責を調布 JC として 39 年ぶりに担う事は、調布 JC が新たなステージに立つ架け橋になると考えます。

— 事業の軸として —

人々の笑顔のために

人の心を大切にしたら、やさしさに満ち溢れた社会の実現を目指す

1970年に調布青年会議所が生まれ、41年の間、多くの方々の支えによって尊い運動が、積み重ねられてきました。その時代時代によって手法は変化しても、私たちが果たそうとしてきた役割は不変です。それは「明るい豊かな社会の実現」であり「社会の前向きな変化の創造」。大切な人の笑顔のため。その人の周りにいる人々の笑顔のため。社会が、笑顔で満ち溢れるために運動をしているのだと思います。

多くの先輩方により積み重ねて来られた 2012 年度。本年度は、公益社団法人調布青年会議所が社会に対する不変的な役割を果たすため、人々に内在する「人を想う心から生まれる行動」を引き出すための運動を展開するため、『人の心を大切にしたら、やさしさに満ち溢れた社会の実現』を目指し、「人々の笑顔のために…」 「人々が一つになる」ことを求めて、全ての運動の軸としてまいりました。

— JAYCEE として —

大切な人を大切にする為の、人間性を身に着ける

大切な人を大切にするためには、その人の心の状態を伺い知ろうとすることと、その人のために自分に何が出来るかを考え、相手を気遣い、行動することです。それは単純に時間や物理的なことでは無く、相手の心と繋がろうとする気持ちです。その為に不可欠なのは、自分自身の「相手を想いやることの出来る、心のゆとり」と、「そのゆとりを常に持ち続けることの出来る、豊かな人間性」だと考えます。

私たち青年会議所は、まちづくり運動を行う公益団体です。まちづくりを語るうえで、私たちは、自分を最も支えてくれている大切な人を、大切にするための「心の豊かな人間性」を持たずして、まちづくりを語ることが出来るのでしょうか。

2012 年度。JAYCEE だからこそ、強さと美しい尊さを感じる、その「心の豊かな人間性」を謙虚に学び、持ち得ることをメンバー一人ひとりの成長の軸としてまいりました。

【まちづくり】

「人と人の心の響き合い」から生まれる、やさしさと笑顔に満ち溢れた社会の実現を目指す

私たちが行うべき「まちづくり」運動は、尊い「人を想う心」「人の笑顔を願う心」が、このまちで共に営む人々の中で、日常においても自然と現れるための運動だと考えます。私たちのまちが「人々の笑顔と、やさしさと満ち溢れた社会」となるために、人々の「他の人を想う心」と「笑顔を願う心」を、市民の中から沸き上がるために手助けをすることが、青年会議所が行うべき「まちづくり」運動であり、人々の心が一つになることを目指すことが、理想の社会に繋がると確信して、運動を展開いたしました。

3月に実施した「東日本大震災 慰霊祭 多摩川燈籠流し ～あの日を忘れない～」は、「人を想う心」と「笑顔を願う心」を願う事業であり、東京ブロック協議会と共同主催をいたしました。東京ブロック協議会が提唱するユニット事業としての各地青年会議所との連携や、地域の諸団体からも協力をいただき開催をし、当日は2,000人を超える方々が追悼の為に越えになり、1つの青年会議所では成しえない記憶に残る事業が開催出来たと考えています。また、他の青年会議所と協力・連携し開催した事業として、11月に「東京都知事選挙 サテライト型公開討論会」、12月に「第46回衆議院選挙 東京都第22選挙区 公開討論会」を選挙に対して市民の意思ある一票を政治に反映させていただくことを目的に開催しました。

「あすの調布」の発行や「ホームページの管理・更新」では我々の運動を広く市民に発信し出来たと考えます。特にホームページにおいて、我々の運動に対し共感していただけた方々のなかの数名に入会希望をいただけたことは、我々の運動の発信の場としての効果が示されていると考えます。

6月に開催した「市民一人一人のさらなる自治意識の向上を目指して」では、まちづくりの主体者は我々市民の一人ひとりである事を訴えるため、自治意識の向上を目的とした東国原氏の講演会・東国原氏と長友調布市長とのパネルディスカッションを実施しました。両氏からのメッセージは、来場された市民の方々に対し私たちが目的としていた自治意識の向上の必要性を訴えかけられたと感じています。

11月と12月の3部開催となった「ちょうふ市民討議会 2012」は、例年とは違う調布市が共同主催ではない開催となりました。公募市民と調布青年会議所シニアクラブ、調布青年会議所メンバーで構成された実行委員会は、市民討議会の意義を考え直し、試行錯誤のなか市民討議会を新たなステージへと導いたと感じています。

【地域産業経済の発展】

地域産業の発展と共に「人々が調布を好きになる」、地域ぐるみの活性化を目指す

私たちのまちに根付く多くの地域産業は、地域の発展と切り離せない関係にあります。

調布のまちの活性化と共に、地域産業の活性化を如何にして具現化していくべきか。それは、このまちで生活する多くの人々が、調布のまちに対してより親近感を感じながら、このまちの産業を利用していくことです。しかし、青年会議所は単に個々の事業の発展を求める団体ではありません。私たち青年会議所の目的である「社会奉仕運動」に基づく「まちづくり」運動の中で地域産業の活性化のために関わっていくことは、私たちの運動が、地域の産業と産業、このまちで生活する人と人、人と産業を繋ぎ合わせる役割を担い、人々が調布のまちにより親近感と愛着感を感じ、自然と調布の産業を利用していくことが、このまちの活性化を図ることと考えます。

地域の産業を営む方々と共に、人々がその商売を通じて調布のまちを誇りに思ってもらえるように、人々の笑顔を望み、地域ぐるみの響き合いを仕掛けることが、私たちが行うべき産業経済活性化のための運動だと確信し運動を展開しました。

11月におこなわれた調布市商工会青年部との共同主催による「調布青年経済人会議 2012」は、4年目を迎え、2009年に調布青年経済人会議でおこなわれた両団体が選ぶ「調布のお土産 10選」を見直し、本年度は市民が本当に選ぶ「調布のお土産」を多くのアンケートの中から選出しました。本事業で選出された「調布のお土産」は今後に未知なる可能性を秘めており、人と産業、人と人を繋ぎ合わせる役割を担い、人々が調布のまちにより親近感と愛着感を感じ、自然と調布の産業を利用し、このまちの活性化を図ることと考えます。

【青少年健全育成】

子ども達の笑顔を望み、「相手を想う心」を伝え「心の教育」を行う

青少年をとりまく様々な問題は、教育・環境・人間関係・家庭・社会の在り方などの要因がありますが、この問題は、国・学校・家庭・地域の全てが当事者として最も重要視して取り組むべき問題だと考えます。なぜなら、その青少年たちは将来の社会を担う、最も大切な宝だからです。

青少年問題について、しっかり見つめなければならないのは、社会を造っていく私たちの世代のはずです。青少年たちの未来を創る私たちの行うべき運動は、学校や地域、親の方々と手を取り合い、全ての大人がこの問題の当事者であることを自覚して、青少年の心の状態に目を向けよう。そして、青少年が社会との関係性を築き始める大切な時期に、「人を想う心」の大切さを伝える「心の教育」を行うことだと考え運動を展開いたしました。

5月におこなわれた「第26回 わんぱく相撲 調布場所」は、『ENJOY』をテーマに開催され、日本の国技である相撲を通じて、楽しみながら相手を思いやる心を学んでいただくことを目的に調布・狛江市内の小学生を対象として開催しました。開催に当たり、開催場所のアメリカンスクール・イン・ジャパンの関係者の方々と、小学生のご父兄の方々の協力のもと、子ども達の笑顔と思いやりに満ち溢れた事業となりました。

11月に開催した「Let's have a DREAM☆」の講演会・テーブルディスカッションでは、2012年ロンドンオリンピックフェンシング男子フルーレ団体で銀メダルリストの千田健太氏と、音楽で夢を追いかけている星子武氏をゲストとして、中高生に対して夢をもつこと、目標を持ち続けること、行動して努力することの大切さを伝え、自分自身の心に、目標という自分が目指す軸をもつことの大切さを知ってもらいました。

【人材育成】

経験を通じて、自分自身のリーダーシップの在り方を学び得る

青年会議所運動には、様々な経験・事業を通じて組織の在り方とリーダーシップを学び得る機会が多くあります。

私は、組織において最も大切なことは、「組織は人であり、そこに属する人の心」であると感じています。そして、リーダーシップのとり方は人それぞれであり、人それぞれの貴重な経験と考え方により、自分なりのリーダーシップの在り方を見出していくのだと考えます。

人は、人との出会いと経験によって最も成長します。特に困難な状況に直面した時、人に助けられ成し遂げた時こそ、相手への感謝の気持ちと共に、その人にとっての最も大きな成長が待っています。青年会議所運動における「社会開発」と「指導力開発」の両輪は、正にその関係であり、その成長を得た「人材」が、卒業後も地域においてリーダーシップをとり、まちづくりをおこなっていく中でも貴重な「財産」となることと確信しています。

2012年度は、経験を通じて学び得る、自分自身のリーダーシップの在り方を学ぶことを、各委員会も含む全ての組織運営において追求をしてまいりました。各事業においても、人との関わりの中から事業をつくり上げることを重視し、「経験から成長を得る」事を大切に、全ての事業を創り上げることを目指しました。

また、そのことを特に重視した事業が、7月に小学生とそのご両親を対象として実施された『「体験！」「発見」
ちょうふ恵みフェスタ ～夏休みの自由研究ここで解決間違いなし～』です。新入会員が中心となり、事業の企画か
らご協力いただく様々な方々との調整、そして当日の運営と事業を通じて掛け替えの無い経験を得て、最終的にはご
参加された多くの方々の笑顔を見ることが出来、達成感と共に、それまでの積み重ねの大切さを感じ、多くメンバー
が事業を通じての成長が得られたと感じています。

【結びに】

第42代の理事長職をお預かりした2012年度を終え、今、1年間と理事長に立候補した一昨年の7月からの数ヶ
月のことを振り返ってみると、その月々やその時々の瞬間が貴重な積み重ねの時間であり、今思えばあつと言う間に
過ぎ去ってしまったように感じています。この一年間を振り返り強く感じることは、自分自身の力不足であり、多く
の仲間に支えられていることをこれほど強く実感した一年はありませんでした。2012年度を共に歩み、苦楽を共に
してくれたメンバーに「心からの感謝」を感じずにはられません。

一昨年の12月の臨時総会にて次年度理事長として皆さんにお伝えした言葉を覚えていますでしょうか？「私は総
会にて2012年度の理事長としてご承認を頂きましたが、これは肩書きを頂いたに過ぎず、私が名実共に理事長と
なることが出来るとすれば、それは2012年度を終えた時に三ツ木秀章は公益社団法人調布青年会議所2012年度
の理事長であった、と皆さんに思ってもらえるかどうかの私の日頃の行動と言動によると考えています。」とお伝えさ
せて頂きました。

皆さんにとって、私は調布JCの理事長であったでしょうか？

私は一年間、等身大で・自分らしく、73名の仲間の心とこの社会を見つめ続けることを意識し、調布JCの素晴
らしき力をどうすれば引き出すことが出来るかと、そればかりを考えていたような気がします。本年度を終えようと
し、今も私が思うことは、「組織は人であり、人こそ全てで、そこに集う人の心が最も大切である。」ということです。
メンバーの一人ひとりが心の手を繋ぎ、その心の響き合いから生まれるチカラによって、素晴らしき調布JCの力が
社会に対して活かせると考えています。

どうか2013年度も引き続き、最高のチームとして皆さまの力を2013年度嵐理事長のもと活かしていただくこ
とを願います。そして、その後の調布JCが前年度を超えるような最高のチームであり続けることを心から願います。

事業報告

I. 事業

1. 地域社会の健全な発展や、文化及び芸術の振興に資する事業（定款第5条第1項第1号 事業）

(1) 東日本大震災 慰霊祭の実施／共催事業 専務理事・専務室

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 東日本大震災 慰霊祭

東日本大震災 慰霊祭 多摩川灯籠流し～あの日を忘れない～

開催日時 2012年3月11日(日) 17時00分～18時00分

開催場所 調布市多摩川河川敷

参加者 (公社)調布青年会議所 50名 一般登録 1750名

来訪JC 200名、調布市仏教会 13名、(株)伊藤園 2名

調布ネットテレビ、J-COM、調布FM、日本テレビ、フジテレビ（電話取材）

参加員計数：約2,000名

事業内容 多摩川流域における灯籠流し

被災者へ追悼を捧げ、灯籠流しを行う。その灯籠には参加者に自分なりのメッセージを書いてもらい、改めて命あること、生かされていることを実感しながら、追悼を捧げてもらう。加えて、東京ブロックと連携しユーストリームでライブ中継を行いながら同時に灯籠流しをすることや、単独で事業を開催するLOMとも早い段階から調整を図り、同じ時間に同じ思いをもって企画を行うことによって様々な会場の参加メンバーに「ALL TOKYO」を実感してもらう。

当初600個ほど用意した当日用のとうろうも、受付開始20分後には在庫切れのお詫びをしなければならない反響ぶりでした。寒空のした長蛇の列で並んでいらしたお客様は、そんな中でもクレーム一つ仰らず、笑顔で頭を下げていって下さり、結果1000人以上は数え切れないほどの来場者数となり多くの市民の方に追悼の場をご提供できたことに大変満足しております。

(2) 「あすの調布」の発行／主催事業 絆。総務組織力向上委員会

発行月 1月、6月、9月、12月

配布先 メンバー、特別会員、賛助会員、一般

事業内容 今年度あすの調布は、西村編集長、堀内君、高木君を中心に年4回発行いたしました。9月号では理事長対談と致しまして、永井調布消防署長と対談させて頂き、消防体験も行わせて頂きました。外部団体との連携手段としてもあすの調布というツールを活用していかねばならないと実感した次第であります。

(3) HPの管理・更新／主催事業 絆。総務組織力向上委員会

開催日時 2011年1月1日から12月31日

事業内容 今年度は増田君を中心にHPの管理、更新を行いました。理事会での審議通過後、翌日にはHPに例会案内がアップされていて、増田君の対応力の早さには目を見張るものがありました。またHPを見て問い合わせを頂き、入会に至った方が3名もいらっしゃいました。今後も会員拡大ツールとして大いにHPが活用できると実感致しました。

(4) 人を想う心、優しさと笑顔に満ち溢れた社会となる為の事業の開催／主催事業 創造まちづくり委員会

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 6月例会

市民一人一人のさらなる自治意識の向上を目指して

開催日時 2012年06月27日(水) 19時00分～20時30分

開催場所 調布市グリーンホール 大ホール

参加者 一般300名・JC正会員およびOBオブザーバー70名 計370名

事業内容 東国原元宮崎県知事と長友調布市長をお呼びして東国原氏による基調講演、東国原氏と長友氏による対談、三ツ木理事長をコーディネーターとしたパネルディスカッションの3部形式による講演会を実施いたしました。当日は、多くの一般の来場者の方々にもお越しいただき、市民一人ひとりが改めて自治意識を持ってまちづくりに参画していただくための方策についてお話をいただきました。

(5) 調布市民討議会の実施／共催事業 専務理事・専務室

事業名称 ちょうふ市民討議会2012

開催日時 第1討議会：2012年10月21日（日）13時30分～17時45分

第2討議会：2012年11月11日（日）13時30分～17時45分

第3討議会：2012年12月2日（日）13時30分～15時15分

開催場所 調布市市民プラザあくろす3階ホール1・2

参加者 第1討議会：43名（男性27名、女性16名）

第2討議会：41名（男性26名、女性15名）

第3討議会：32名（男性22名、女性10名）

事業内容 ■大テーマ：「鉄道敷地に新しくできる緑道や広場で私たち市民は、どんな活動ができますか？
～ぬくもりある遊歩道に向けて～」

■第1討議会：「市民誰もが集い、調布らしくにぎわいのある場所にするためにはどうしたらいいでしょうか」

■第2討議会：「緑道の維持管理主体とその方法について」
「緑道に流れを作るための広場の活用方法について」

■第3討議会：「提言内容の説明」「提言内容についての意見抽出」

公募市民を交えた実行委員会を2011年3月に設置し、上記の日程・討議テーマにて市民討議会を実施しました。

テーマ選定に当たっては、市民目線で解決すべき課題を実行委員会で調査・研究し、京王線地下化後の鉄道跡地利用に着目しました。

京王線地下化後の鉄道跡地利用については、2005年3月に鉄道敷地利用検討会による「鉄道敷地利用に向けての提言書」が作成されました。その提言書内の今後検討を要する事項で、「社会情勢に応じた時点修正」「市民に愛される仕組み作り」の項目について、京王線地下化エリアの沿線住民により討議を行いました。今後、実行委員会では、沿線住民による提言書を作成し調布市内関係各所に広く公開するとともに、提言内容の行く末を見届けていきます。

(6) 福祉まつりの参画／参画事業 創造まちづくり委員会

事業名称 第35回調布市福祉まつりの参画

開催日時 2012年12月2日（日）10時00分～15時00分

開催場所 調布市役所前庭

事業内容 第35回福祉まつりの趣旨に賛同し、(公社)調布青年会議所が行う販売収益を寄付に充て地域の福祉に役立てて頂くため、ちゃんこ鍋の販売を行いました。また、例年と同様、他団体の方々との交流も図らせていただきました。

2. 地域産業経済に関する調査研究及び地域産業経済の健全な発展に資する事業（定款第5条第1項第2号 事業）

(1) 地域産業の発展と共に【人々が調布を好きになる】、地域ぐるみの活性化を図る事業の実施「青年経済人会議」／共催事業 創造まちづくり委員会

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 2012 調布青年経済人会議 11月第一例会
調布青年経済人会議 2012

開催日時 2012年11月29日（木）19:00～21:20

開催場所 国立大学法人電気通信大学 電気通信大学創立80周年記念会館 リサーチ

参加者 JCメンバー43名、商工会青年部メンバー23名（JCメンバー重複15名）

事業内容 商工会青年部と連携した地域経済活性化のための事業として、「市民が選ぶ調布のお土産」と題して市内各店舗・各種イベント・公共施設等へのパンフレット配架などを行い、公募にてお土産を募集いたしました。集まったアンケートの結果を集計し、実行委員会メンバーが取材を行いデータ化いたしました。例会当日、第1部では多摩信用金庫価値創造事業部酒井克哲氏からお土産に対する可能性や地域価値創造の重要性を講演いただき、第2部において作成したデータを用いてどのように地域の経済振興に寄与していくことができるのかについてディスカッションを行いました。

3. 次世代を担う児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業（定款第5条第1項第3号 事業）

(1) わんぱく相撲調布場所の開催／主催事業（全体事業） ☆夢☆青少年委員会

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 5月例会
第26回わんぱく相撲 調布場所 ～ENJOY～

開催日時 2012年5月13日（日） 8時30分～16時45分

開催場所 アメリカンスクール・イン・ジャパン

参加者 205名

事業内容 わんぱく相撲を通じて、礼儀作法、団体行動や思いやり、勝つことの喜びや負けることの悔しさを学ぶ事が必要です。保護者の皆さまには相撲に一生懸命取り組み、成長する子ども達の姿を見守って頂きたい。また実行委員会を通じて、会場を提供していただけるアメリカンスクール、外部協力団体と一般協力者の連携をとることにより、わんぱく相撲が地域で開催する事業であると考えて頂く事を目的とする。

(2) 子ども達の笑顔を望み、「相手を想う心」を伝え「心の教育」行いうちの事業の開催

／主催事業 ☆夢☆青少年委員会

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 11月第二例会
Let's have a DREAM☆

開催日時 2012年11月25日（日） 14時00分～16時50分

開催場所 調布クレストンホテル 大宴会場クラウンルーム

参加者 52名

事業内容 ロンドンオリンピック フェンシング銀メダリストの千田健太氏をお呼びし、自分自身の心の軸を強くもち目標を達成した方、そのために努力をされている方の声を直接間近で聞くことにより、自ら五感で感じて、夢を持つこと、目標を持ち続けること、行動して努力することの大切さを青少年に伝えることにより、青少年自身に心の軸を強くもつことの大切さを知ってもらいます。

(3) 他団体事業の参画・協力/参画・参加事業 専務理事・専務室

事業名称 アドベンチャーIN多摩川2012

開催日時 2012年8月18日（土） 9:00～11:30（8:45受付開始）

開催場所 調布市多摩川河川敷

参加者 調布市立富士見台小学校・調布市立布田小学校・調布市立飛田給小学校

調布市立第三小学校・調布市立杉森小学校・調布市立多摩川小学校

調布市立 染地小学校 4年生（50組親子ペア）

参加数 44名

公益社団法人調布青年会議所メンバー13名

実行委員会メンバー24名

合計 81名

事業内容

①ライフジャケットを着用しての川流れ体験（※担当：水辺の楽校）

参加する親子が上流から川を流れる体験内容

②ガサガサ（水辺の魚を採取しながら生体の勉強）（※担当：水辺の楽校）

浅瀬の所に住む川の虫や、魚を親子で採取しながら、生物の勉強会もしていく

③大型ゴムボートでの川下り（※担当：公益社団法人調布青年会議所）

大型ゴムボートに子どもだけが乗り込み、川を下り、その後、川を上り、川の流れの強さも知っていただきます。

※参加するメンバーの関わり方。

①の川流れでは、川の下流でメンバーと実行委員会にて広がって待機をし、親子が流されないようにする。

②の参加者と一緒に、網で生物を摂取しながら、メンバー自身も多摩川の生態系の勉強と、参加者が安全に過ごせるように、目配りをする。

③では、ボートが流されないように、別のボートでの監視と、2台のボートが円滑に回るように調整する。

慣れない水辺の担当でしたが、メンバー自身、自ら率先して担当をやり、大変すばらしい事業に参画でき、当日、子どもたちが夏休みの関係で少ない状態でしたが、子どもたちの笑顔が多摩川に溢れる事が出来ました。そんな中、当日、大雨警報が発令され、時間より早めに終わる形になりましたが、うまく運営したことにより、全ての予定内容を体験してもらうことが出来ました。多くの実行委員会のメンバーとメンバーが知り合えたことにより、来年度には、布田小学校を中心に「ふだ冒険王国」へと発展させ、調布市の自然を多くの子どもたちに再認識していただける事業へ発展させていきたいと思っております。

(4) 他団体事業の参画・協力/参画・参加事業 専務理事・専務室

事業名称 東京都知事選挙 サテライト型公開討論会
開催日時 2012年11月27日(火) 19時00分～20時30分
開催場所 調布市市民プラザ あくろす 2Fはばたき
参加人数 (公社)調布青年会議所を含む東京ブロック協議会内各地会員会議所メンバー： 14名
東京都第22選挙区(調布市・三鷹市・狛江市・稲城市)の市民： 11名
ニコニコ動画 来場数(当日)： 31,106人
タイムシフト： 611(12月3日18時点)
U-STREAM 当日視聴数： 55,375
録画視聴数： 602

事業内容 東京都知事選公開討論会を東京都内で広域的に都民に公開討論会を発信するために、メイン会場とサテライト会場設営し、ライブ配信による同時中継を行う設営した。近くの会場で公開討論会を視聴できることで、より多くの市民に政治選択の場所を提供出来た。また、公示前日までニコニコ動画とU-streamで公開討論会をライブ放送と内容を蓄積することで当日来場できない多くの有権者が閲覧出来る機会とした。また、(公社)調布青年会議所を含む東京ブロック内各地会員会議所のHPにおいても公開討論会を閲覧できるページを東京都知事選挙公示前日まで設けた。

(5) 他団体事業の参画・協力/参画・共催事業 専務理事・専務室

事業名称 第46回衆議院選挙 東京都第22選挙区 公開討論会
開催日時 2012年12月27日(火) 19時00分～21時00分
開催場所 調布クレストンホテル 大宴会場クラウンルーム
参加人数 (公社)調布青年会議所を含む各地会員会議所メンバー： 39名
東京都第22選挙区(調布市・三鷹市・狛江市・稲城市)の市民： 87名
プレス関係者(NHK・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・東京新聞)： 5名
立候補予定者： 6名
コーディネーター： 1名
(合計： 138名)

事業内容 政策とは名ばかりの政権公約など、説得力と具体性に欠けた現在の政治に対して、市民一人ひとりが意識を確立し、市民の意見が政治に反映される社会の仕組みを構築する必要があります。また、民意が政治に反映されない社会を変えるには、無関心層の人たちから政治的関心を引き出し、市民の政治参加意識を向上させる働きかけをし、明るい日本の未来を築いていくことが必要です。市民の意思ある一票を政治に反映させ、日本の政治をより市民主導型とし、民意を具現化すべく、この度の衆議院の解散に基づいて衆議院選挙執行されたこの時に、東京22選挙区において立候補予定者6名による第46回衆議院選挙公開討論会を開催しました。そして、多くの有権者に選挙に対する関心をもって頂き、6名の立候補予定者の人柄や政策を確認し、それぞれが提示する政策と将来の効果を自ら考える場を設け、選挙に対する当事者意識をもって頂くと共に意思ある一票を投票していただくことを目的としました。また、同時中継でおこなった『U-STREAM』での動画配信により来場出来なかった有権者にも公開討論会の様子を閲覧出来る機会を設けました。

4. 地域を牽引する人材を育成する事業(定款第5条第1項第4号 事業)

(1) ソーシャルネットワーク活用方法に関する調査・研究・発信/主催事業 絆。総務組織力向上委員会

事業名称 絆。総務組織力向上委員会公開委員会 ソーシャルメディアを学んで活用・実践しよう!
開催日時 2012年6月13日(水)19時00分から21時00分 他通年
開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター
参加者 調布JCメンバー25名、一般73名
事業内容 (株)ループス・コミュニケーションズ代表の斉藤徹氏を講師に招き、SNSの活用・実践方法を学びました。チラシやポスター配布などは行わず、facebookのみで動員を図り、当日73名もの一般参加者の方にご来場頂きました。経営戦略ツールとしてだけでなく、動員ツールとしてもfacebookが活用出来ることを実践致しました。

(2) 公益事業の開催を通じ、その過程の中で、JCの可能性を知り、メンバーの成長を得る事業の開催/主催事業 会員拡大ひとつづくり委員会

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 7月例会
「体験!」「発見」ちょうふ恵みフェスタ ～夏休みの自由研究ここで解決間違いなし～
開催日時 2012年7月29日(日) 8時00分～15時00分
開催場所 調布市深大寺・佐須(カニ山、ホテル園)
参加者 494名
事業内容 本年度入会した新入会員を中心に事業を組み立てた。事業を通して調布市内に残された自然を少しでも多くの子供達、市民に認知してもらい、自然保護、自然の大切さを知らせ自然保護活動の活性化

を期待するとともに、来場された方に「こんなに豊かな自然環境に住むことができる。」「豊かな自然環境で子育てができる。」等認知してもらいたいのが目的である。この目的を達成するために市民団体「ちようふ環境市民会議」と合同で今回の会場だからこそできるイベントを企画。内容は自然散策コース、工作等があり、ただイベントに参加するだけでなく、自分の足で会場をまわり記録を残せるハンドブックを作製できる構成にした。

5. 新年度の運動方針を発表する事業（定款第5条第2項第3号 事業）

- (1) 新春地域懇談会の開催／主催事業 総務組織力向上委員会
事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所1月例会
2012年度公益社団法人調布青年会議所並びに同シニアクラブ合同新春地域懇談会
開催日時 2012年1月17日（火） 19時00分～21時15分
開催場所 調布市文化会館たづくり 12階 大会議場 +12階会議室3部屋
参加者 257名
(来賓67名、来訪JC98名、特別会員28名、オブザーバー5名、メンバー59名)
事業内容 新年度のスタートにあたり、日頃より（公社）調布青年会議所の運動に対し、ご理解・ご協力を頂いている地域諸団体や行政関係の皆様並びに市民の方々に、2012年度（公社）調布青年会議所の基本方針を披露し、本年度も引き続き私たちの運動に対してご理解・ご協力を頂けるよう新春地域懇談会をメンバー一丸となって開催致しました。

6. 事業年度毎に事業年度を振り返る事業（定款第5条第2項第4号 事業）

- (1) 卒業例会・納会の開催／主催事業 会員拡大ひとづくり委員会
事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 12月第二例会
第一部・卒業式2012～新たなるスタートを祝おう～
第二部・納会2012 公益初年度の挑戦～笑顔、そして一致団結した社会を目指して～
開催期間 2011年12月9日（日） 14:10～19:00
開催場所 第一部：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー 21階 パークルーム
第二部：ホテルサンルートプラザ新宿
参加者 （公社）調布青年会議所 正会員（50名）
シニアクラブ（18名）
事業内容 例年調布で行われていた12月第二例会でしたが、卒業生の要望もあり都内の新宿という場所で開催しました。一部、二部では会場が違うため円滑に進めるよう委員会メンバーで工夫し会場の誘導、設営をいたしました。
内容としては、
第一部卒業例会では卒業生にスピーチをしていただき、話し手と聞き手双方にとって最適な時間を設定し、また映像、音響、にも工夫を凝らし、感動的かつ記憶に残るような演出にいたしました。
第二部納会では今年（公社）調布青年会議所のメンバーが総決算として今年一年を振り返る事ができるよう映像をながし、理事長には最後のスピーチをしていただくことにより本年度を総括していただきました。またアトラクションにおいてはメンバーで意見を出し合い、卒業生はもちろん会場に居る皆様に感動していただけるような工夫をいたしました。その結果 新入会員がひとりひとりに直接会いに行き一言をもらい、感動と実行力を見せれる映像ができました。また本年度も卒業記念誌の代わりに記念DVD製作を行い来場メンバーに記録としてお渡ししました。

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第5条第2項第5号 事業）

- (1) 会員拡大の調査研究／主催事業 会員拡大ひとづくり委員会
事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 会員拡大の調査・研究
開催日時 2012年3月1日～2012年11月末日
事業内容 青年会議所の認知度を高めるため人の目につく広告を企画。事務局のシャッターに巨大なQRコードを印刷したマグネットを貼り付けた。入会候補者に関する情報をまとめ、もっとも多く情報の提供を頂いた現役、OBの方へ、12月第二例会を利用して表彰した。

(2) シニアクラブ合同懇親会の開催／主催事業 専務理事・専務室

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 4月例会
シニアクラブ合同懇親会 ～転がせ！スポーツを通じて、心の響き合い～
開催日時 2012年4月21日（土） 16時15分～19時30分
開催場所 調布スポーツセンター（例会事業） + 新橋亭（例会懇親会）
参加者 （公社）調布青年会議所 正会員（39名）
シニアクラブ（15名）

事業内容 今年度は、東京国体でボウリングの会場となる調布スポーツセンターで開催致しました。例年の懇親会よりも、より深い懇親を目的とし、スポーツを通じての懇親を図りました。国体の意識向上も目的としました。結果発表を懇親会で行う2部制とし、多くのシニアクラブの皆様が参加されやすいよう配慮しました。普段とは違ったメンバー同士の交流が見られ、人と人の響き合いが行われたと感じております。

(3) 事務局移転に関する調査・研究／主催事業 専務理事・専務室

事業名称 2012年度公益社団法人調布青年会議所 事務局移転に関する調査・研究

開催日時 2012年1月1日～2012年11月30日

事業内容 【前年度までの経緯】

- ・布多天神社様から使用貸借で賃借している事務局の使用期間は、当初2001年10月1日から2011年9月30日までの10年間であった。
- ・2009年11月、09年度理事長・専務理事、10年度理事長・専務理事とともに、布多天神社様に事務局の使用方法、更新可能性の有無も含め、ご挨拶に伺った。その際、布多天神社様からは、使用期間の延長は出来ない旨ご返答頂いた。
- ・2011年は、その事業計画の中で理事長主導のもと事務局移転の調査研究として、移転先の選定を進める予定でいた。しかし、東日本大震災への対応に忙殺され、使用期間終了までに移転の目処がたたないことが判明した。
- ・事務局移転先候補選定を進めながら、2011年7月より布多天神社様に事務局移転について状況をご説明し、使用期間延長のお願いを続けた。
- ・2011年11月1日、布多天神社様より2012年10月31日までとする使用期間延長についてご了承頂いた。

【2012年度の内容】

- ・8月 事務局の移転先が確定（調布市菊野台1丁目17番地1・2）
理事会審議可決後、宗教法人布多天神社様へ移転スケジュールの説明
- ・9月 臨時総会後に新事務局賃貸借契約締結
新事務局改修工事開始・10月31日までに造作工事終了に移転作業
- ・10月 新事務局（調布市菊野台1丁目17番地1・2）へ移転終了
宗教法人布多天神社様へご挨拶・2012年10月31日付の解約手続き
- ・11月 移転登記完了後：東京都、武蔵府中税務署、立川都税事務所、調布市役所へ本店移転届提出

Ⅱ. その他

総会の開催／
理事会の運営／

※総会報告を参照
※理事会報告を参照

総 会 報 告

第1回 定時総会（2月例会）

- 1、招集年月日 2012年2月15日 水曜日
- 2、開催年月日 2012年2月29日 水曜日
- 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター
- 4、正会員数 65名
- 5、出席正会員数 52名（本人出席43名 委任状出席9名）
- 6、議事
議長選出の件 西村友志君
定足数の確認
議事録署名人の選任 梶原良介君 井上耕志君
第一号議案 2011年度社団法人調布青年会議所 2011年度 事業報告承認に関する件
第二号議案 2011年度社団法人調布青年会議所 2011年度 決算報告承認に関する件
第三号議案 2012年度社団法人調布青年会議所 決算報告 承認に関する件
第四号議案 2012年度公益社団法人調布青年会議所 補正予算（案）承認に関する件
第五号議案 2012年度公益社団法人調布青年会議所 正会員除名承認に関する件
以上全議案可決承認

第1回 臨時総会（9月例会）

- 1、招集年月日 2012年8月29日 水曜日
- 2、開催年月日 2012年9月9日 木曜日
- 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター
- 4、正会員数 74名
- 5、出席正会員数 69名（本人出席55名 委任状出席14名）
- 6、議事
議長選出の件 清岡和彦君
定足数の確認
議事録署名人の選任 加藤百恵君 梶原良介君
第一号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 理事長選挙当選者承認に関する件
第二号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 理事役員予定者承認に関する件
第三号議案 2012年度公益社団法人調布青年会議所 事務局移転承認に関する件
第四号議案 2012年度公益社団法人調布青年会議所 補正予算（案）承認に関する件
以上全議案可決承認

第2回 臨時総会（12月第一例会）

- 1、招集年月日 2012年11月27日 火曜日
- 2、開催年月日 2012年12月4日 火曜日
- 3、開催場所 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター
- 4、正会員数 74名
- 5、出席正会員数 62名（本人出席45名 委任状出席17名）
- 6、議事
議長選出の件 新田義政君
定足数の確認
議事録署名人の選任 加藤百恵君 平松明君
第一号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 理事長承認に関する件
第二号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 役員承認に関する件

第三号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 組織図（案）承認に関する件
第四号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 事業計画（案）承認に関する件
第五号議案 2013年度公益社団法人調布青年会議所 収支予算（案）承認に関する件
第六号議案 2012年度公益社団法人調布青年会議所 正会員除名承認に関する件
以上全議案可決承認

理 事 会 報 告

第1回理事会 日 時：2011年11月22日（木） 20：00～22：00

会 場：社団法人調布青年会議所 事務局 2階

審議事項：

- ①2012年度（社）調布青年会議所 事業計画（案）承認に関する件 （可決）
- ②2012年度（社）調布青年会議所 組織図（案）承認に関する件 （可決）
- ③2012年度（社）調布青年会議所 収支予算（案）承認に関する件 （可決）
- ④2012年度（社）調布青年会議所 1月例会 日時場所承認に関する件 （可決）
- ⑤2012年度（社）調布青年会議所 正会員入会に関する件 （可決）

協議事項：

- ① 2012年度（社）調布青年会議所 1月例会について

第2回理事会 日 時：2011年12月22日（木） 20：00～22：00

会 場：社団法人調布青年会議所 事務局 2階

審議事項：

- ①2012年度（社）調布青年会議所 正会員入会に関する件 （可決）
- ②2012年度（社）調布青年会議所 1月例会に関する件 （可決）
- ③2012年度（社）調布青年会議所 ホームページ管理・更新に伴う予算執行に関する件 （可決）
- ④2012年度（社）調布青年会議所 あすの調布発行に伴う予算執行に関する件 （可決）
- ⑤2012年度（社）調布青年会議所 各クラブ名義使用に関する件 （可決）

協議事項：

- ①2012年度（社）調布青年会議所 東日本大震災慰霊祭実施について

第3回理事会 日 時：2012年1月26日（木） 20：00～23：00

会 場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階

審議事項：

- ①2012年度（公社）調布青年会議所 わんぱく相撲調布場所実施に伴う実行委員会設置に関する件 （可決）
- ②2012年度（公社）調布青年会議所 東日本大震災慰霊祭実施に関する件 （可決）
- ③2011年度（社）調布青年会議所 事業報告承認に関する件 （可決）
- ④2011年度（社）調布青年会議所 決算報告承認に関する件 （可決）
- ⑤2012年度（公社）調布青年会議所 決算報告承認に関する件 （可決）
- ⑥2012年度（公社）調布青年会議所 補正予算（案）承認に関する件 （可決）
- ⑦2012年度（公社）調布青年会議所 正会員除名承認に関する件 （可決）
- ⑧2012年度（公社）調布青年会議所 2月例会に関する件 （可決）
- ⑨2012年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件 （可決）
- ⑩2012年度（公社）調布青年会議所 「第一回おらほせんがわ de 街コン」後援名義受託に関する件 （可決）

協議事項：

- ①2012年度（公社）調布青年会議所 5月例会について

第4回理事会 日 時：2012年2月23日（木） 20：00～23：00

会 場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階

審議事項：

- ①2012年度（公社）調布青年会議所 会員拡大調査研究に伴う予算執行に関する件 （可決）
- ②2012年度（公社）調布青年会議所 東日本大震災慰霊祭実施に伴う事業内容修に関する件 （可決）
- ③2012年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件 （可決）

協議事項：

- ①2012年度（公社）調布青年会議所 6月例会について
- ②2012年度（公社）調布青年会議所 5月例会について
- ③2012年度（公社）調布青年会議所 4月例会について

第1回臨時理事会 日 時：2012年3月8日（木） 20：00～20：30

会 場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階

審議事項：

- ①2012年度（公社）調布青年会議所 正会員入会に関する件 （可決）

- 第5回理事会 日 時：2012年3月22日(木) 20:00~22:00
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 5月例会日時・場所承認に関する件 (可決)
 ②2012年度(公社)調布青年会議所 リーガルネットワーク活用方法に関する調査・研究・発信に伴う予算執行に関する件 (可決)
 ③2012年度(公社)調布青年会議所 4月例会に関する件 (可決)
 ④2012年度(公社)調布青年会議所 調布市民討議会の実施に伴う予算執行並びに実行委員会設置に関する件 (可決)
 ⑤2012年度(公社)調布青年会議所 正会員入会に関する件 (可決)
 協議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 7月例会について
 ②2012年度(公社)調布青年会議所 6月例会について
 ③2012年度(公社)調布青年会議所 5月例会について
- 第6回理事会 日 時：2012年4月26日(木) 20:00~22:50
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 5月例会に関する件 (可決)
 ②2012年度(公社)調布青年会議所 6月例会日時場所承認に関する件 (可決)
 ③2012年度(公社)調布青年会議所 正会員入会に関する件 (可決)
 ④2012年度(公社)調布青年会議所 「第8回深大寺短編恋愛小説『深大寺恋物語』公募事業」後援名義受託に関する件 (可決)
 協議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 6月例会について
 ②2012年度(公社)調布青年会議所 7月例会について
- 第7回理事会 日 時：2012年5月24日(木) 20:00~22:00
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 6月例会に関する件 (可決)
 ②2012年度(公社)調布青年会議所 「青年経済人会議」に伴う実行委員会の設置・予算執行に関する件 (可決)
 協議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 7月例会について
- 第8回理事会 日 時：2012年6月28日(木) 20:00~22:00
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 理事長選挙管理委員会設置に関する件 (可決)
 ②2012年度(公社)調布青年会議所 7月例会に関する件 (可決)
 ③2012年度(公社)調布青年会議所 正会員入会に関する件 (可決)
 協議事項：
 なし
- 第2回臨時理事会 日 時：2012年7月12日(木) 20:00~20:30
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 正会員入会に関する件 (可決)
- 第9回理事会 日 時：2012年7月26日(木) 20:00~22:00
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2012年度(公社)調布青年会議所 理事長選挙当選者承認に関する件 (可決)
 ②2012年度(社)調布青年会議所 他団体事業の参画・協力に伴う予算執行に関する件 (可決)
 協議事項：
 ①2011年度(社)調布青年会議所 11月第二例会について
- 第10回理事会 日 時：2012年8月23日(木) 20:00~22:00
 会場：公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項：
 ①2013年度(公社)調布青年会議所 理事役員予定者承認に関する件 (可決)

- ②2012年度(公社)調布青年会議所 事務局移転承認に関する件 (可決)
 - ③2012年度(公社)調布青年会議所 補正予算承認に関する件 (可決)
 - ④2012年度(公社)調布青年会議所 東日本大震災慰霊祭の実施に関する決算報告承認に関する件 (可決)
 - ⑤2012年度(公社)調布青年会議所 「調布市子育てフェスタ2013 五感の森で元気に育て!(仮)」後援名義受託に関する件 (可決)
 - ⑥2012年度(公社)調布青年会議所 9月例会臨時総会に関する件
- 協議事項:
- ①2012年度(公社)調布青年会議所 「青年経済人会議」事業実施について
 - ②2012年度(公社)調布青年会議所 11月第二例会について

第11回理事会 日 時:2012年9月27日(木) 20:00~22:00
 会 場:公益社団法人調布青年会議所 事務局 2階
 審議事項:
 なし

- 協議事項:
- ①2012年度(公社)調布青年会議所 12月第二例会について
 - ②2012年度(公社)調布青年会議所 「青年経済人会議」事業実施について
 - ③2012年度(公社)調布青年会議所 11月第二例会について

第12回理事会 日 時:2012年10月25日(木) 20:00~22:00
 会 場:公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A
 審議事項:

- ①2011年度(社)調布青年会議所 11月第一例会に関する件 (可決)
 - ②2011年度(社)調布青年会議所 11月第二例会に関する件 (審議取り下げ)
 - ③2011年度(社)調布青年会議所 12月第二例会 日時・場所承認に関する件 (可決)
 - ④2011年度(社)調布青年会議所 褒賞委員会設置に関する件 (可決)
- 協議事項:
 ①2011年度(社)調布青年会議所 12月第二例会について

第3回臨時理事会 日 時:2012年10月31日(水) 20:00~21:30
 会 場:公益社団法人調布青年会議所 事務局 Room A
 審議事項:

- ①2012年度(公社)調布青年会議所 11月第二例会に関する件 (可決)

第13回理事会 日 時:2012年11月22日(木) 20:00~22:00
 会 場:社団法人調布青年会議所 事務局 Room A
 審議事項:

- ①2012年度(公社)調布青年会議所 正会員除名に関する件 (可決)
- ②2012年度(公社)調布青年会議所 他団体事業の参画・協力を伴う実行委員会設置及び予算執行に関する件 東京都知事選挙サテライト型公開討論会 (可決)
- ③2012年度(公社)調布青年会議所 他団体事業の参画・協力を伴う実行委員会設置及び予算執行に関する件 衆議院選挙公開討論会 (可決)
- ④2012年度(公社)調布青年会議所 12月第二例会 卒業式・納会に関する件 (可決)
- ⑤2012年度(公社)調布青年会議所 第35回福祉まつり参画に伴う予算執行に関する件 (可決)
- ⑥2013年度(公社)調布青年会議所 顧問(案)選任に関する件 (可決)
- ⑦2013年度(公社)調布青年会議所 事業計画(案)承認 (可決)
- ⑧2013年度(公社)調布青年会議所 予算書(案)承認に関する件 (可決)
- ⑨2013年度(公社)調布青年会議所 組織図(案)承認に関する件 (可決)
- ⑩2012年度(公社)調布青年会議所 12月第一例会臨時総会に関する件 (可決)

理事会出席表

○：出席 ×：欠席 △：遅刻早退 委：委任状

回数	1	2	3	4	臨1	5	6	7	8	臨2	9	10
月/日	11/22	12/22	1/26	2/23	3/8	3/22	4/26	5/24	6/28	7/12	7/26	8/23
理事会出席率	96	87	83	83	87	96	87	83	96	74	96	87
理事会出席数	22	20	19	19	20	22	20	19	22	17	22	20
三ツ木 秀章	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
原島 秀一	○	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	○
齋藤 喜兆	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
小川 陽一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
高橋 裕二	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
嵐 祐子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梶原 良介	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
井上 耕志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
加藤 百恵	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
高橋 昇三	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
畑野 政大	○	委	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
瀧柳 伸央	○	委	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
榎本 陽介	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
加園 丈晴	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
平松 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中島 茂雄	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○
新國 政和	○	○	×	○	×	○	○	△	△	×	○	○
柴田 実久	委	○	○	○	○	○	×	△	×	×	○	○
渡邊 弘樹	○	○	×	×	×	×	×	○	△	○	○	○
小山 晃一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
菅 寛人	○	委	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
和田 勝幸	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
堀 善一	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○
セクレタリー	宮	新田	高橋秀	遠藤大	宮	志田	渡邊涼	黒田	根本	堀内	清岡	粕谷

11	12	臨3	13	合計	出席率	回数
9/27	10/25	10/31	11/22			月/日
87	83	74	91		87	理事会出席率
20	19	17	21		319	理事会出席数
○	○	○	○	16 /16	100	三ツ木 秀章
×	○	×	○	13 /16	81	原島 秀一
△	○	○	○	15 /16	94	齋藤 喜兆
○	○	○	○	15 /16	94	小川 陽一
○	○	○	○	16 /16	100	高橋 裕二
○	○	○	○	16 /16	100	嵐 祐子
○	○	○	○	16 /16	100	梶原 良介
○	○	×	△	14 /16	88	井上 耕志
○	○	○	○	14 /16	88	加藤 百恵
○	×	○	○	14 /16	88	高橋 昇三
○	○	×	○	14 /16	88	畑野 政大
○	○	○	○	14 /16	88	瀧柳 伸央
○	○	×	○	14 /16	88	榎本 陽介
×	×	○	○	12 /16	75	加園 丈晴
○	○	×	○	15 /16	94	平松 明
○	×	○	○	11 /16	69	中島 茂雄
×	○	×	×	10 /16	63	新國 政和
○	×	○	△	11 /16	69	柴田 実久
○	○	○	×	10 /16	63	渡邊 弘樹
○	○	○	○	16 /16	100	小山 晃一郎
○	○	○	○	14 /16	88	菅 寛人
○	○	○	○	15 /16	94	和田 勝幸
○	○	○	○	16 /16	100	堀 善一
遠藤晃	戸井田	戸井田	井上			セクレタリー

役員報告

副理事長 嵐祐子

絆。総務組織力向上委員会を担当させていただきました。総務の仕事は地味ですが、法人運営の基盤を支える重要な部門です。高橋委員長、新國副委員長、柴田副委員長のリードのもと、総会の開催、あすの調布の発行、発送物など多くの作業、担当事業を全メンバーが分担し、しっかりと進めていただきました。

また、担当例会である新春地域懇談会以外に、SNS 活用講座を公開委員会として行うなど、積極的な姿勢が素晴らしい委員会でした。

その他、副理事長担当で開催した3月11日東日本大震災慰霊祭「多摩川燈籠流し」、そして年末になって突然押し寄せてきた東京都知事選、衆議院選の公開討論会などもあり、あっという間の2012年でした。

もっとも個人的には、副理事長という立ち位置を模索し続けた1年だったように思いますが、学びの多い1年でもありました。みなさま本当におつかれさまでした。そしてありがとうございました。

副理事長 小川陽一

2012年は私にとって2度目となる副理事長を仰せつかりました、私の副理事長としての目標は委員会メンバーとともに調布のまちについて考えるという事でした。2度目ということもあり、どのような立ち位置で正副委員長また、委員会メンバーと関わりをもつかは何となく分かっていたつもりではありますが、副理事長として、ときには委員会メンバーのつもりで発言する事により、委員会としての主体性を少し無くしてしまったなど反省する反面あらためて難しい役職だなおもいました。

よかった点は委員会メンバーと本気で調布のまちについて考える事が出来たと思っています。そしてその結果、青年経済人会議を通じ委員会として一丸となり調布市商工会青年部さんと本気の会議ができたと思っています。創造まちづくりのみんな、ありがとうございました。とても思いでに残る1年間でした。

最後に、このような機会を与えて頂いた三ツ木理事長ありがとうございました。そして、1年間お疲れさまでした。

副理事長 齊藤喜兆

入会して9年目、何度かお誘いいただいていたのですが、タイミングが合わず受けていなかった副理事長の役を心して受けました。委員長、副委員長は経験していましたが、副理事長は初めてで的確に役割を果たせるか自信はありませんでしたが、私なりの副理事長をやろうと考えていました。そんな中3月例会は、正副担当の例会ということで、高橋裕二副理事長の仕切りで慰霊祭を行いました。東京ブロック協議会との合同のイベントとなり、苦勞も多かったのですが1000人以上の参加者があり、とてもいい経験ができました。多くのやさしさのこもった多摩川に流れる灯籠を見て、とても感動したことを覚えています。

また、私は拡大委員会の担当副理事長でした。委員長が経験豊富な梶原委員長ということで、副理事長として委員会に助言する・理事会の対応を指示するといったような役割はあまり果たしていませんでした。しかし、私的なやり方になりましたが、委員会メンバーと同じ立場で委員会に出席してきました。そんな中7月例会は新入会員の仲間と一丸となっていちから事業を創ることができて、色々な苦悩を副理事長というより、委員会メンバーとして参加したことで絆が深められたと思います。一生の仲間を今年も大勢つくることができました。同様に12月例会も拡大委員会の仲間とたくさんの時間を共にしたことで、何年も前からの仲間と勘違いしてしまうような仲になれました。

とにかく今年の新入会員の仲間は最高のメンバーだったと感謝の念がとだえることはありません。三ツ木理事長を支える事ができていたか、1年を通して副理事長という役割を果たせたかどうかはわかりませんが、自分的には充実した1年間でした。本当にありがとうございました。

副理事長 高橋裕二

2012年度、初めて副理事長という役職を一年間経験させて頂きました。初めてのポジションで特に、11月第二例会のときには、どういう役回りをすべきなのか？苦悩の日々を過ごしました。というのもやるからには、対象としている方たちに十分な成果を持ち帰ってもらいたい。まして、今回の対象者は思春期の中学生でありましたから、最も動員が難しい対象者に『私たちが伝えたいことを分かりやすい言葉や資料にまで昇華させる必要が1人ひとりに課せられた』のです。自分や家族の時間を裂いて100%見知らぬ子供のために奉げることは決して容易ではなく、1人ひとりに疲労と諦めも見えました。ENJOYをテーマにやってきた委員長にはそんなメンバーの姿は最も耐えられなかったことと思います。

本来、奉仕とは自分の余っているものを回すのではなく（これは慈善）自分の一部を使うものだと、ある人から聞きました。自分の一部の時間や労力やお金を使うわけですから、私はそれも自分の一部だと考えます。だからこそ、楽しんでやらなければならないんだと思います。家族や仕事を犠牲にしているのではなく、自分のことだから。それを一年間通じて伝え切れなかったのが今の一番の反省です。☆夢☆青少年委員会、加藤委員長、中島、平松副委員長どうもすみませんでした。そして今年もよろしくお願ひします☆

監事 小山晃一郎

2012年度公益元年となったこの年、三ツ木理事長を筆頭に「人々の笑顔のため、やさしさに満ち溢れた社会の実現 ～人と人の響き合いから生まれる チカラ～」のスローガンのもと、さまざまな事業が展開されました。昨年発生した東日本大震災の復興作業が始まる中、この出来事を決して風化させてはならないという思いから、他LOMと合同で慰霊祭を開催し、この行動に賛同した沢山の市民が参加しておりました。

また、会員拡大ひとづくり委員会が行なった「ちょうふ恵みフェスタ」においては、委員会メンバーがお互いに知恵を出し合い、公益性という幹に次から次へと枝葉を広げ最終的に立派なツリーを完成されました。まだ入会もないメンバーが所属する委員会が、公益という言葉を意識しつつ「ニーズ」・「資源」・「可能性」を融合するために積み上げていく姿は大きく評価すべきものでありました。そしてどの委員会も理事長所信から与えられた使命をくみ取り、人と人の響き合いを通してそれぞれのカラーを出しておりました。この様な響き合いが今後の（公社）調布青年会議所の道筋をさらに明るく照らしていくものと感じております。

監事 渡邊弘樹

公益法人に移行した2012年度に監事をさせて頂き、公益法人として事業を構築しているか、慣れない中メンバーが素晴らしい事業を作り上げていきました。そんな中、メンバーでありながら監事としての職務を全うさせていただく上で、厳しいご意見も述べさせて頂きました。調布青年会議所は、先輩方から引継いだ歴史の中で、公益性のある事業があたりまえのように出来ている団体であるが故に、もっと時代に先駆けた形の事業展開も今後は大切になってくることと思います。「明るい豊かな調布」を創造し、今後も素晴らしい事業を作り、事業を作る過程の中で、メンバーが運動を行っている調布という地域に対して、もっともっと愛情を降り注いでいって頂きたいと思います。後半、ブロック会長就任という事で、なかなか会議に参加出来ない状態でありましたが、私自身もより勉強し、そこで得た知識を調布青年会議所の為に若いメンバーに引き継いでいきたいと思っております。1年間本当にお疲れ様でした。2013年度嵐理事長率いる調布青年会議所が更なる発展をすることを祈り申し上げ報告に変えさせて頂きます。

専務理事 堀善一

2012年度三ツ木理事長のもとで公益社団法人調布青年会議所の専務理事をさせて頂き、様々な経験が出来た一年間でした。

専務室の菅副専務理事、和田財務担当理事、いつも支えて頂きありがとうございました。正副の皆さん、いつも無理なお願いを聞いて頂きありがとうございました。三ツ木理事長の支えになれたかわかりませんが一年間ご苦労様でした。

青年会議所卒業年度に専務理事をさせて頂き沢山の事を経験出来ました。いたらない点多々ありましたが私自身多少成長できたのでは、と自負しております。本当に皆さまありがとうございました。

副専務理事 菅寛人

本年設置された「専務室」として、堀専務の補佐をさせて頂きました。専務がLOM全体を見回し運営を調整する、専務室は理事長・専務職の総務的な部分をサポートし裏方で支える、という明確な役割分担をいたしました。主担当例会である4月例会の実施の他、理事会設営や、京都会議・全国大会の引率もさせて頂き、業務内容的にはなかなか大変な時期もありましたが、時期を追うごとにそれぞれが主体的に役割を果たし、機能的に動いていたのではと感じております。ブロック副委員長も兼務していた関係上、時間的にはかなりタイトな状況が多かったのですが、逆に自分の得意・不得意な部分が如実に表れ、自分を見つめなおす良い一年にもなりました。役務としては得意分野でもありましたので、その部分での成長も感じております。皆様のサポートをする立場でしたが、逆に色々とお世話になる部分も多く、皆様には本当に感謝感謝であります。どうもありがとうございました。

財務担当理事 和田勝幸

財務担当をお受けする時に、過去3年理事をやってまいりましたが、今までとはまったく違う予算という角度から青年会議所を見て参りました。2012年度は公益法人格取得により予算組や会計書式が変更され、最初は理解するのに戸惑いもありましたが、青年会議所運動をするということに何ら依然と違いはないと感じた1年でした。

また、ここ数年とは違い副専務と財務担当が分離され、それにより専務室が設置され、専務室の一員としての三ツ木理事長、堀専務をサポートしてまいりました。この職に就く事が出来た意味と経験を、私にとってラストイヤーである次年度の調布青年会議所運動に生かして行ければと考えます。至らぬ点多々ありましたが、思い出に残る1年間を過ごせました。皆様どうもありがとうございました。

委員会報告

会員拡大ひとつづくり委員会

委員長 梶原良介

2012年度に入る前、三ツ木理事長より何度も拡大委員長のお話をいただき、「拡大委員長は将来有望なメンバーが担うべき。」との個人的な見解のもと当初はお断りをさせていただきました。しかし、齋藤副理事長・堀専務と同行され、三度目のご訪問をいただいた時の理事長の熱い想いをお聞きした際、私の気持ちは変わりました。五年先、十年先を思い描いた時に必要となる人財を獲得し育成する…。そこに自身の情熱を注ぎたいという気持ちに変わったのを覚えております。

五年後に向けては、副委員長として就いてくれた畑野・瀧柳両副委員長を足腰の強い理事者として育成する。十年後に向けては、若い世代を獲得し、青年会議所運動のダイナミズムと可能性を実感することと共に、自身の人生に大きな影響を与えてくれる「かけがえのない友」との出会いと友情を育てたいという事を念頭におきながら一年間委員会を運営し、与えられた事業の実践をして参りました。

7月例会においては、事業の企画段階に入る前にしっかりと「まちや社会に存在する問題や課題を掘り起こす」ところから議論を始め、行政関係・市民団体の皆様とも事業の初期段階から連携を図り開催にこぎつけました。全ての行程に新入会員も関わりを持ち、彼らを極力前面に出し事業を成功に導いたことは本当に良い経験となったのではないかと考えます。

12月例会については、委員長としてほとんど何もしていません。両副委員長を中心に事業の全てを采配することが出来るようになっておりました。そんな二人の頑張る背中を見て、新入会員たちが一つになる様は委員長冥利に尽きる所でした。

いずれにしても、齋藤副理事長をはじめとするサポートの皆様の温かいご支援のもとに我々の委員会も一体感や達成感を感じられたことはいうまでもありません。最後に、このありがたいお役目を与えていただいた三ツ木理事長・齋藤副理事長・堀専務に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

副委員長 瀧柳仲央

今の自分の経験、スキルで新入会員を指揮して、委員会を運営し、例会を開催することができるのか？青年会議所運動とはどんなことをするのか？するべきなのか？不安と疑問を感じながらスタートした一年でした。悩んでも仕方ない、手探りで始めた委員会、運営していくうちに会議の進行のポイント、会議に臨む段取りの必要性がわかりました。また、七月例会の企画段階で今後どのように青年会議所を運動していけばいいのか。少し答えが出たように感じました。それは私たちが生活する調布市には地道にコツコツと自分たちの思いを持って活動している市民団体が数多く存在し、その団体と青年会議所が協力し合いお互いの強みを生かすことで相乗効果が生まれ、市民意識を変えられる運動を起こすことが可能だということです。これがしたい、だからどのようにすれば実現することができるのか？ぶれない思いと行動力が備われば一緒に運動するメンバーだけでなく、多くの市民を動かシアクションが起こせる可能性がある。これはただ元気の良い青年が集まっている団体ではなく、明るい豊かなまちづくりの実現に向かって様々な議論を繰り返すことができる青年会議所の行動力がなせる特徴であり、強みでないかと気づくことができた一年間でした。

副委員長 畑野政大

今年入会して、右も左もわからない委員のメンバーと一緒にやっていくことの面白さを感じた一年間でした。そして、理事長経験者である梶原委員長に委員会や例会をとおして、いろいろな経験や勉強をさせて頂きました。後ろに委員長がいるという安心感のなかで委員会を運営させていただけたことが、とても心強く感じ、一年間、挫折することなくやってこれた事を心から感謝しています。第1回の委員会の時の自分を思い出すと12月例会が終わった自分と比較できないほど成長できたと思います。

そして7月例会では、新入会員が率先と行動し、地域の多数他団体や行政と連絡をとりあい、自分たちの役割を責任をもって行動していく姿をみて、とても力強く感じました。内容も含め事業として価値あるもののできたと思われま。梶原委員長をはじめ、一年間共に過ごしたメンバーの皆様、本当にお世話になりました。感謝を申し上げます。今後とも一生の仲間として、長いお付き合いを宜しくお願い致します。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	1/18	旧事務局 2階	JCとは？オリエンテーション	11	11
2	2/7	旧事務局 2階	7月例会について	13	13
3	2/22	旧事務局 2階	7月例会について	13	13

4	3/13	旧事務局 2 階	7 月例会について	17	16
5	4/2	旧事務局 2 階	7 月例会について	18	12
6	4/23	旧事務局 2 階	7 月例会について	18	12
7	5/10	旧事務局 2 階	7 月例会について	20	15
8	6/1	旧事務局 2 階	7 月例会について	20	14
9	6/21	旧事務局 2 階	7 月例会について	20	14
10	7/9	旧事務局 2 階	7 月例会について 公開委員会準備	21	18
11	7/19	たづくり 10F	7 月例会について 公開委員会	21	18
12	8/22	あくろす 会議室 1	7 月例会反省会 12 月例会について	22	14
13	9/13	旧事務局 2 階	12 月例会について	22	12
14	10/2	旧事務局 2 階	12 月例会について	22	17
15	10/23	新事務局 ROOM A	12 月例会について	22	17
16	11/14	新事務局 ROOM A	12 月例会について	22	11
17	11/28	新事務局 ROOM A	12 月例会について	22	16
18	12/5	新事務局 ROOM A	12 月例会について	22	16

創造まちづくり委員会

委員長 井上耕志

この度、はじめての委員長という役職を拝命し、三ツ木理事長の初心に基づき委員会運営に挑戦させていただきました。委員会メンバーも本当に個性豊かなみなさんが集結し、内容も濃く目まぐるしい一年間となりました。担当させていただいた事業は3つでしたが、どれにつきましてもご協力いただいたそれぞれの委員会メンバーの力が如何なく発揮され、改めて青年会議所の一つ一つの事業は人と人とのつながりとそこから生み出される響き合いから形になるのだと実感いたしました。

今後、今回の経験をしっかりと次へとつなげていけるような活動をしていきたいと思っています。一年間支えていただきました委員会メンバーの皆さん本当にありがとうございました。

副委員長 榎本陽介

今年度、井上委員長、加園副委員長と委員会メンバー数人の方々とは、前年まで議論や個別に協力し合う事は少なかったのですが、今年度の事業を開催するにあたり、前年より準備を始めた段階から、期待が持てるわくわくする委員会になると確信致しました。その委員会で行った事業では試行錯誤しながらも各メンバーが自身の得意分野・知識・行動を遺憾無く発揮し、非常に良いスパイラルで委員会議事運営を行うことができ、事業に対して邁進出来たかと思えます。その響き合いの結果、どの事業も一定の役割りは残す事ができ、今の自分から一歩飛び出せた行動も取れ、不得意としていた部分も多少成長出来たかと思えます。あらためて、井上委員長を始めとします委員会メンバーの皆さまありがとうございました。

副委員長 加園丈晴

2012年度創造まちづくり委員会副委員長をやらせて頂きました加園丈晴です！昨年は井上委員長のもとまちづくりに関して、今この調布が変わりゆく中我々調布青年会議所が何をしていかなければいけないのか委員会で話し合い二つの例会を行わせていただきました。一つ目に東国原氏をお呼びしての講演。動員はかなり厳しい内容でしたが、来ていただいた方々には大変面白く為になった例会だったと思います。二つ目は商工会青年部との合同事業青年経済人会議です。始まった当初は中々噛み合わなかった両団体が何回もの協議を重ねる事によってまとまり、絆すら見えた例会だったと思います。

一年間有り難う御座いました。また13年度も宜しくお願い致します！

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/13	事務局2階	初顔合わせ	13	12
2	1/19	事務局2階	6月例会について	13	10
3	1/30	事務局2階	6月例会について	13	8
4	2/14	事務局2階	6月例会について	13	7
5	3/12	事務局2階	6月例会について	13	6
6	4/10	事務局2階	6月例会について	13	7
7	4/24	事務局2階	6月例会について	13	5
8	5/2	事務局2階	6月例会について	13	5
9	5/16	事務局2階	6月例会について	13	6
10	5/31	事務局2階	6月例会について	13	7
11	6/20	事務局2階	6月例会について	13	5
12	6/26	事務局2階	6月例会について	13	5
13	6/6	事務局2階	青年経済人会議第1回顔合わせ	13	7
14	6/25	事務局2階	青年経済人会議第2回	13	5
15	7/4	事務局2階	青年経済人会議第3回	13	5
16	7/18	商工会館3階	青年経済人会議第4回	13	5
17	8/6	事務局2階	青年経済人会議第5回	13	6
18	8/22	事務局2階	青年経済人会議第6回	13	6
19	9/5	事務局2階	青年経済人会議第7回	13	7
20	9/18	事務局2階	青年経済人会議第8回	13	5
21	10/3	事務局2階	青年経済人会議第9回	13	5
22	10/17	事務局2階	青年経済人会議第10回	13	4
23	10/24	事務局2階	青年経済人会議第11回(公開委員会)	13	6

24	11/7	商工会館3階	青年経済人会議第12回	13	5
25	11/14	事務局2階	青年経済人会議第13回	13	5
26	11/21	商工会館3階	青年経済人会議第14回	13	6
27	11/27	事務局2階	青年経済人会議第15回	13	7

☆夢☆青少年委員会

委員長 加藤百恵

経験の浅い委員長・副委員長でしたが、高橋副理事長に助けられながら手探りで第26回わんぱく相撲調布場所・11月第二例会 Let's have a DREAM☆を担当させて頂きました。

委員会メンバー皆の意見を尊重し、楽しい委員会運営を目指しましたが、私が至らなかった為、委員会メンバーだけでなく、理事長をはじめ理事の皆様にも多大なるご迷惑をかけてしまいました。しっかり反省をし、学んだ事を生かせるよう、今後も夢に向かって頑張ります！

最後まで一緒に頑張ってくれた高橋副理事長と委員会メンバーには感謝の言葉しかありません。一年間本当にありがとうございました☆

副委員長 中島茂雄

2012年初めて理事を経験し感じたことは、一人では何も出来ないということ。そして、事業を作り上げていくうえでメンバーの協力が大事だということです。私が2012年一番感じたことは、誰のために事業を行うかということです。相手に自分達がなにを伝えたいのか、この軸をしっかり持ってないとだめということです。事業をつくりあげていくなかで、たくさんの意見やアドバイスを頂きます自分の軸が決まっていなくて流され、前に進むことが出来ず自分が何を相手に伝えたいのか、わからなくなってきました。2013年この経験を活かして、会議所運動を展開していきたいと思えます。

副委員長 平松明

3月末までちょうふ市民討議会2011、9月より東京ブロック協議会事務局と、前年度次年度の責任者としての立場も抱え委員会の活動に専念できなかった部分もあり、至らぬ点ばかりが思い出されます。特に、11月第二例会については、早い時期から意識して話し合いはしてきたものの、副委員長としての役割を果たして加藤委員長を支えることができず、事業の根幹が決まらないまま時間ばかりを費やしてしまいました。

しかし、11月第二例会に直結していなかったとしても、明るく元気な加藤委員長を中心にして、委員会メンバーのみなさんと真剣に青少年の問題について語り合えたことは、本当に楽しく貴重な時間であったと思っています。メンバーのみなさん、本当にありがとうございました。みなさんの支えがあったからこそ、2つの例会を開催することが出来ました。

最初で最後の理事となった貴重な1年間を与えていただいたこと、心より感謝しております。ありがとうございました。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	12/19	事務局2階	年間スケジュール確認	16	11
2	1/19	アジアンタイパイ	わんぱく相撲について	16	12
3	2/2	事務局2階	わんぱく相撲企画室	16	10
4	2/16	事務局2階	わんぱく相撲実行委員会	16	7
5	3/1	事務局2階	わんぱく相撲企画室	16	9
6	3/15	事務局2階	わんぱく相撲実行委員会	16	10
7	3/29	事務局2階	わんぱく相撲企画室	16	9
8	4/5	事務局2階	わんぱく相撲実行委員会	16	11
9	4/19	事務局2階	わんぱく相撲実行委員会	16	10
10	4/30	事務局2階	わんぱく相撲・11月第二例会について	16	13
11	5/7	事務局2階	わんぱく相撲公開委員会	16	10
12	6/26	事務局2階	11月第二例会について	16	7
13	7/18	事務局2階	11月第二例会について	16	6
14	7/31	事務局2階	11月第二例会について	16	9
15	8/13	事務局2階	11月第二例会について	16	6

16	8/30	事務局2階	11月第二例会について	16	8
17	9/10	事務局2階	11月第二例会について	16	7
18	9/21	事務局2階	11月第二例会について	16	8
19	10/2	アジアンタイプイ	11月第二例会について	16	11
20	10/17	アジアンタイプイ	11月第二例会について	16	8
21	10/26	Room A	11月第二例会について	16	7
22	11/4	Room A	11月第二例会について	16	8
23	11/13	Room A	11月第二例会について	16	8
24	11/16	Room A	11月第二例会について	16	9
25	11/19	Room A	11月第二例会について	16	10
26	11/23	Room A	11月第二例会について	16	8

絆。総務組織力向上委員会

委員長 高橋昇三

今年度の総務委員会は賀詞を担当させて頂くということで、年当初からかなり厳しいスケジュールでした。あすの調布元旦号、ホームページに始まり賀詞、2月の臨時総会と続いた中で、なかなかメンバーとの交流を図る機会は出来なかったのですが、それでも文句も言わず楽しく発送作業をしてくれたメンバーには本当に感謝しております。私自身は頼りない委員長でしたが、優秀なメンバーたちに支えられ1年間を乗り切ることが出来ました。みんなほんとにありがとう!!!

副委員長 新國政和

総務委員会の担当事業、担当管理の内容は非常にボリュームの多い中身でした。

限られたメンバーで本当に良くやってきたと振り返ります。私個人の事業担当としては、1月の「新春地域懇談会」と6月の公開委員会であった「ソーシャルネットワーク活用セミナー」の開催でした。両事業とも内容は全く違いますが、事業内容、対外の巻き込み、発信性、事業の完成度はすこぶる高かったと感じています。

今振り返ると私たちは、総務の取り組みとして一年間を通じて、JCメンバーの基礎力向上と組織力向上に取り組むことで自らも向上させ、組織をも発展、進化させることが出来たのだと考えます。

下支えで目立たない委員会のため、ひと、取り組みとも常時、陽にあたることはなかったのですが、高橋委員長を初めとするメンバー頑張りに力強さと委員会の「絆」の深さを感じ、感動を覚えました。

最後に全ての業務を全うできたことを誇りに思うとともに、ご協力頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。有難う御座いました。

副委員長 柴田実久

私個人としましては、理事会に欠席する事が多く高橋委員長には非常に迷惑をかけてしまったと思っております。

JC事業の醍醐味が感じづらい委員会である事は年初から感じておりましたが発送作業などの作業に労力を取られてしまうためメンバーのモチベーションコントロールが難しい委員会なんだと痛感いたしました。

そんな中「ソーシャルネットワーク活用セミナー」を公開委員会として行えた事は今後の総務委員会の在り方を考えるうえで有意義だったのではないかと考えております。

委員会開催一覧

回	開催日	会場	内容	委員数	出席人数
1	10/20	事務局1階	あすの調布、賀詞について	14	8
2	11/4	事務局1階	ホームページ、賀詞について	14	7
3	11/16	事務局1階	あすの調布、賀詞について	14	7
4	12/13	ジョナサン	賀詞について	14	7
5	12/16	事務局1階	賀詞について	14	5
6	12/28	事務局1階	発送作業	14	7
7	1/6	事務局1階	賀詞について	14	6
8	1/14	事務局1階	賀詞について	14	7
9	1/27	事務局1階	発送作業	14	6
10	2/15	事務局1階	総会について	14	5
11	2/17	事務局1階	発送作業	14	6
12	2/27	事務局1階	総会について	14	8
13	3/9	事務局1階	公開委員会について	14	6
14	4/11	事務局1階	あすの調布について	14	5
15	4/18	事務局1階	公開委員会について	14	6
16	5/18	華肴	公開委員会について	14	10
17	5/30	事務局1階	発送作業	14	6
18	6/8	事務局1階	公開委員会について	14	5

19	6/13	たづくり	公開委員会	14	10
20	7/28	事務局 1 階	発送作業	14	6
21	8/28	事務局 1 階	発送作業、総会について	14	7
22	9/8	事務局 1 階	発送作業	14	5
23	9/29	事務局 1 階	発送作業	14	6
24	10/31	事務局	発送作業	14	8
25	11/25	事務局	発送作業、総会について	14	5
26	12/3	事務局	総会について	14	6
27	12/28	事務局	発送作業	14	5

理事長選挙管理委員会

委員長 新田義政

第一回委員会

開催日時： 2012年7月2日(月)

開催場所： 事務局1F

出席者： 菅寛人、黒田秀範、小山晃一郎、白浜利崇、新田義政

会議内容： 2012年5月24日の第7回理事会において理事長選挙管理委員会の設立が可決され、告示のために開催

1. 正副委員長の選出 委員長 新田義政 副委員長 白浜利崇
2. 選挙人名簿の確定をするために、財務担当理事より提出された正会員の現段階の年会費支払い状況報告を審査し選挙人名簿を作成
3. 理事長選挙細則の確認
4. 告知文書として、7月2日付けの理事長選挙告示(細則)と選挙人名簿の発送。

第二回委員会

開催日時： 2012年7月18日(水)

開催場所： 事務局1F

出席者： 菅寛人、黒田秀範、白浜利崇、新田義政

会議内容：

1. 2012年7月2日付けの理事長選挙管理委員会の定めた細則のうち、立候補の締め切りまでに、嵐祐子君から立候補の届け出を受け、公益社団法人調布青年会議所「理事長選挙に関する規定」第16条に該当する立候補者とみなし、同17条による資格審査の結果、候補者として適格と判断し告示する。さらに立候補者が一名のみであったため、当委員会は同29条により「嵐祐子」候補を公益社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者として認定した。
2. 告知文書として、公益社団法人調布青年会議所理事長選挙当選者名(告示)、それに伴う、履歴書及び青年会議所における経歴書、青年会議所に対する意見書の作成と発送。

その後の流れ

理事会審議	2012年7月26日	議案	(公社)調布青年会議所理事長選挙当選者	可決
臨時総会	2012年10月31日	議案	(公社)調布青年会議所理事長選挙当選者	可決
通常総会	2012年12月4日	議案	(公社)調布青年会議所理事長承認	可決

以上

褒賞委員会

委員長 菅 寛人

第1回 褒賞委員会の開催

開催日時： 平成24年12月3日（月） 21時～23時

開催場所： 事務局

出席者： 4名（小山晃一郎、堀善一、和田勝幸、菅寛人） 渡邊監事に関しては事前にヒアリング

会議内容： 平成24年12月3日（月）までに申請のあった褒賞対象者（グループを含む）を部門ごとに検討し、以下の結果とした。

最優秀JAYCEE賞：高橋 裕二

優秀JAYCEE賞：鈴木 あゆみ

優秀JAYCEE賞：増田 健治

最優秀新人賞：新田 義政

優秀新人賞：遠藤 大貴

優秀新人賞：高橋 秀幸

優秀新人賞：志田 卓磨

最優秀グループ賞：会員拡大ひとづくり委員会

理事長特別賞：榎本 陽介

理事長特別賞：境屋 奈央子

優秀例会出席賞：三ツ木秀章、原島 秀一、斉藤 喜兆、小川 陽一、高橋 裕二、嵐 祐子、渡邊 弘樹、
小山 晃一郎、堀 善一、和田 勝幸、川端 宏志、前村 久美子、増田 健治、榎本 陽
介、松永 和磨、加藤 百恵、平松 明、新田 義政、梶原 良介、畑野 政大、高橋 秀
幸、遠藤 大貴、菅 寛人
以上 23名

上記の内容を平成24年12月9日（日） 2012年度公益社団法人調布青年会議所12月第二例会（納会）にて
発表し、賞状と記念品の授与を行いました。

以上

2012年度 公益社団法人 調布青年会議所

決 算 報 告 書

- 1、貸借対照表
- 2、正味財産増減計算書
- 3、正味財産増減計算内訳表
- 4、財産目録
- 5、計算書類に付する注記
- 6、収支計算書（内部管理資料）
- 7、正味財産増減計算内訳表（内部管理資料）

以下のとおりご報告申し上げます。

2012年度 公益社団法人 調布青年会議所

理 事 長 三ツ木 秀章 (印)

専務理事 堀 善一 (印)

財務担当理事 和田 勝幸 (印)

貸借対照表

平成24年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,374,626	1,631,563	-256,937
未収入金	824,472	0	824,472
立替金	131,319	0	131,319
前払費用	1,450,000	0	1,450,000
流動資産合計	3,780,417	1,631,563	2,148,854
2 固定資産			
(1) 特定資産			
基本特定預金	0	3,000,000	-3,000,000
周年事業特定預金	400,000	200,000	200,000
事務局取得資金特定預金	7,800,000	7,400,000	400,000
特定資産合計	8,200,000	10,600,000	-2,400,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	1,477,890	0	1,477,890
什器備品	144,900	217,350	-72,450
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	1,768,390	362,950	1,405,440
固定資産合計	9,968,390	10,962,950	-994,560
資産合計	13,748,807	12,594,513	1,154,294
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	735,797	0	735,797
流動負債合計	735,797	0	735,797
負債合計	735,797	0	735,797
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	13,013,010	12,594,513	418,497
正味財産合計	13,013,010	12,594,513	418,497
負債及び正味財産合計	13,748,807	12,594,513	1,154,294

正味財産増減計算書

公益社団法人調布青年会議所

自：平成24年1月4日 至：平成24年12月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	0	0	0
② 受取入金			
新入会員入金	400,000	225,000	175,000
③ 受取会費			
正会員年会費	8,280,000	7,960,000	320,000
賛助会員年会費	670,000	660,000	10,000
④ 事業収益			
事業協賛金	669,000	489,000	180,000
事業登録料	610,000	675,000	△ 65,000
⑤ 受取補助金等	0	0	0
⑥ 受取負担金	0	0	0
出向者負担金	103,000	159,850	
⑦ 雑収益			
受取利息収益	1,955	6,213	△ 4,258
その他雑収益	400,310	313,797	86,513
⑧ 他会計からの繰入金			
基金会計からの繰入金	0	0	0
経常収益計	11,134,265	10,488,860	645,405
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
旅費交通費	142,500	94,800	47,700
通信運搬費	676,799	353,037	323,762
減価償却費	93,233	0	93,233
消耗什器備品費	146,854	0	146,854
消耗品費	3,524,842	2,366,794	1,158,048
修繕費			0
印刷製本費	1,238,362	640,819	597,543
水道光熱費	152,883	0	152,883
賃借料(会場使用料等)	816,031	192,698	623,333
賃借料(事務所家賃)	49,300	0	49,300
賃借料(倉庫置き場)	4,930	0	4,930
保険料			0
諸謝金	1,531,434	1,036,847	494,587
租税公課	0	0	0
支払負担金	0	0	0
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費	138,896		138,896
② 管理費			
給料手当	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	6,061	370,758	△ 364,697
減価償却費	1,327	72,450	△ 71,123
消耗什器備品費	2,086	0	2,086
消耗品費	155,813	427,448	△ 271,635
印刷製本費	496,158	582,646	△ 86,488
水道光熱費	2,172	131,937	△ 129,765
賃借料(会場使用料等)	0	0	0
賃借料(事務所家賃)	700	0	700
賃借料(倉庫置き場)	70	0	70
保険料	0	9,980	△ 9,980
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	0	0
支払負担金	1,188,008	1,235,332	△ 47,324
慶弔費等	104,486	328,190	△ 223,704
雑費	242,823	829,155	△ 586,332
経常費用計	10,715,768	8,672,891	2,042,877
当期経常増減額	418,497	1,815,969	△ 1,397,472
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	418,497	1,815,969	△ 1,397,472
一般正味財産期首残高	12,594,513	10,778,544	1,815,969
一般正味財産期末残高	13,013,010	12,594,513	418,497
II. 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等			
受取国庫補助金			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	13,013,010	12,594,513	418,497

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

【別表F(2)各事業に関連する費用額の配賦計算表(役員等の報酬・給料手当以外の経費)】

(各費用額に共通して発生する関連費用等について、配賦基準を明記の上、記載してください。)

事業年度	自 24 年 1 月 4 日	法人コード	AO14986
	至 24 年 12 月 31 日	法人名	公益社団法人調布青年会議所

(上段:配賦の根拠数値、中段:配賦割合、下段:配賦額)(単位:円)

番号	科目名	各事業に関連する費用		配賦基準	公益目的事業会計(明るい豊かな社会創造事業会計)						収益事業等会計(共益事業その他事業会計)						法人会計	
		費用の名称	費用の額		明るい豊かな社会創造事業				共通	小計	収1	収2	収3	共益1	共通	小計		
1	消耗品費	消耗品の購入	0	使用割合														
2	印刷製本費	印刷機(プリンター)保守料・その他印刷代	146,304	使用割合	120,560						120,560					20,786	20,786	4,958
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					120,560	0	0	0	0	0	120,560	0	0	0	20,786	0	20,786	4,958
3	通信運搬費	電話・FAX及び郵便物の発送費用	432,835	使用割合	360,118						360,118					66,656	66,656	6,061
					83.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%	1.4%
					360,118	0	0	0	0	0	360,118	0	0	0	66,656	0	66,656	6,061
4	消耗什器備品費	小額減価償却資産	148,940	使用割合	125,258						125,258					21,596	21,596	2,086
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					125,258	0	0	0	0	0	125,258	0	0	0	21,596	0	21,596	2,086
5	水道光熱費	事務局水道光熱費	155,055	使用割合	129,005						129,005					23,878	23,878	2,172
					83.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%	1.4%
					129,005	0	0	0	0	0	129,005	0	0	0	23,878	0	23,878	2,172
6	雑費	事務所及び事務所経費	140,869	使用割合	117,203						117,203					21,693	21,693	1,973
					83.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.2%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%	1.4%
					117,203	0	0	0	0	0	117,203	0	0	0	21,693	0	21,693	1,973
7	減価償却費	印刷機	72,450	使用割合	60,930						60,930					10,505	10,505	1,015
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					60,930	0	0	0	0	0	60,930	0	0	0	10,505	0	10,505	1,015
8	減価償却費	事務所内装設備	16,243	使用割合	13,660						13,660					2,355	2,355	228
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					13,660	0	0	0	0	0	13,660	0	0	0	2,355	0	2,355	228
9	減価償却費	給排水工事	3,229	使用割合	2,715						2,715					468	468	46
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					2,715	0	0	0	0	0	2,715	0	0	0	468	0	468	46
10	減価償却費	電気設備工事	2,638	使用割合	2,218						2,218					382	382	38
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					2,218	0	0	0	0	0	2,218	0	0	0	382	0	382	38
11	賃借料	事務所家賃	50,000	使用割合	42,050						42,050					7,250	7,250	700
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					42,050	0	0	0	0	0	42,050	0	0	0	7,250	0	7,250	700
12	賃借料	倉庫置き場	5,000	使用割合	4,205						4,205					725	725	70
					84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	0.0%	14.5%	1.4%
					4,205	0	0	0	0	0	4,205	0	0	0	725	0	725	70
	ページ	合計	1,173,563		977,922						977,922					176,294	176,294	19,347

記載要領： 下表の水色欄(部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

正味財産増減計算書内訳表①
平成24年1月4日から平成24年12月31日まで

科 目	公益目的事業会計(明るい豊かな社会創造事業会計)							小計
	明るい豊かな社会創造事業	公2	公3	公4	公5	公6	共通	
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載								0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載								0
受取入会金	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000
新入会員入会金	200,000							200,000
受取会費	4,475,000	0	0	0	0	0	0	4,475,000
正会員年会費	4,140,000							4,140,000
賛助会員年会費	335,000							335,000
事業収益	419,000	0	0	0	0	0	0	419,000
事業協賛金	419,000							419,000
事業登録料収入								0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載								0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
出向者負担金会費								0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載								0
雑収益	977	0	0	0	0	0	0	977
預金利息	977							977
雑収入								0
経常収益計	5,094,977	0	0	0	0	0	0	5,094,977
(2) 経常費用								
事業費	6,443,136	0	0	0	0	0	0	6,443,136
給料手当	0							0
臨時雇賃金	0							0
退職給付費用	0							0
福利厚生費	0							0
旅費交通費	142,500							142,500
通信運搬費	589,853							589,853
減価償却費	79,523							79,523
消耗什器備品費	125,258							125,258
消耗品費	2,078,608							2,078,608
修繕費	0							0
印刷製本費	1,124,691							1,124,691
燃料費	0							0
水道光熱費	129,005							129,005
賃借料(会場使用料等)	478,806							478,806
賃借料(事務所家賃)	42,050							42,050
賃借料(倉庫置き場)	4,205							4,205
保険料	0							0
諸謝金	1,531,434							1,531,434
租税公課	0							0
支払負担金	0							0
支払助成金	0							0
支払寄付金	0							0
委託費	0							0
有価証券運用損	0							0
雑費	117,203							117,203
管理費								
役員報酬								
給料手当								
退職給付費用								
福利厚生費								
会議費								
旅費交通費								
通信運搬費								
減価償却費								
消耗什器備品費								
消耗品費								
修繕費								
印刷製本費								
燃料費								
水道光熱費								
賃借料(会場使用料等)								
賃借料(事務所家賃)								
賃借料(倉庫置き場)								
保険料								
諸謝金								
租税公課								
支払負担金								
支払寄付金								
支払利息								
慶弔費等								
雑費								
経常費用計	6,443,136	0	0	0	0	0	0	6,443,136
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,348,159	0	0	0	0	0	0	△ 1,348,159
基本財産評価損益等								0
特定資産評価損益等								0
投資有価証券評価損益等								0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,348,159	0	0	0	0	0	0	△ 1,348,159
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
中科目別記載								0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
中科目別記載								0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								0
当期一般正味財産増減額	△ 1,348,159	0	0	0	0	0	0	△ 1,348,159

記載要領： 下表の水色欄(■部分)を記載してください。また、必要に応じて、行を追加・削除してください。

法人コード	A014986
法人名	公益社団法人調布青年会議所

正味財産増減計算書内訳表②
平成24年1月4日から平成24年12月31日まで

(単位:円)

科 目	収益事業等会計(公益事業その他事業会計)						法人会計	内部取引控除	合計
	収1	収2	収3	共益1	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載									
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載									
受取入会金	0	0	0	51,880	0	51,880	148,120	0	400,000
新入会員入会金				51,880		51,880	148,120		400,000
受取会費	0	0	0	1,160,795	0	1,160,795	3,314,205	0	8,950,000
正会員年会費				1,073,898		1,073,898	3,066,102		8,280,000
賛助会員年会費				86,897		86,897	248,103		670,000
事業収益	0	0	0	860,000	0	860,000	0	0	1,279,000
事業協賛金				250,000		250,000			669,000
事業登録料収入				610,000		610,000			610,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載									
受取負担金	0	0	0	0	0	0	103,000	0	103,000
出向者負担金会費							103,000		103,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載									
雑収益	0	0	0	253	0	253	401,035	0	402,265
預金利息				253		253	725		1,955
雑収入							400,310		400,310
経常収益計	0	0	0	2,072,928	0	2,072,928	3,966,360	0	11,134,265
(2) 経常費用									
事業費	0	0	0	2,072,928	0	2,072,928		0	8,516,064
給料手当				0		0			0
臨時雇賃金				0		0			0
退職給付費用				0		0			0
福利厚生費				0		0			0
旅費交通費				0		0			142,500
通信運搬費				86,946		86,946			676,799
減価償却費				13,710		13,710			93,233
消耗什器備品費				21,596		21,596			146,854
消耗品費				1,446,234		1,446,234			3,524,842
修繕費				0		0			0
印刷製本費				113,671		113,671			1,238,362
燃料費				0		0			0
水道光熱費				23,878		23,878			152,883
賃借料(会場使用料等)				337,225		337,225			816,031
賃借料(事務所家賃)				7,250		7,250			49,300
賃借料(倉庫置き場)				725		725			4,930
保険料				0		0			0
諸謝金				0		0			1,531,434
租税公課				0		0			0
支払負担金				0		0			0
支払助成金				0		0			0
支払寄付金				0		0			0
委託費				0		0			0
有価証券運用損				0		0			0
雑費				21,693		21,693			138,896
管理費							2,199,704	0	2,199,704
役員報酬									0
給料手当									0
退職給付費用									0
福利厚生費									0
会議費									0
旅費交通費									0
通信運搬費							6,061		6,061
減価償却費							1,327		1,327
消耗什器備品費							2,086		2,086
消耗品費							155,813		155,813
修繕費									0
印刷製本費							496,158		496,158
燃料費									0
水道光熱費							2,172		2,172
賃借料(会場使用料等)									0
賃借料(事務所家賃)							700		700
賃借料(倉庫置き場)							70		70
保険料									0
諸謝金									0
租税公課									0
支払負担金							1,188,008		1,188,008
支払寄付金									0
支払利息									0
慶弔費等							104,486		104,486
雑費							242,823		242,823
経常費用計	0	0	0	2,072,928	0	2,072,928	2,199,704	0	10,715,768
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	1,766,656	0	418,497
基本財産評価損益等									0
特定資産評価損益等									0
投資有価証券評価損益等									0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	1,766,656	0	418,497
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
中科目別記載									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
中科目別記載									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	1,766,656	0	418,497

財産目録

平成24年12月31日現在

公益社団法人調布青年会議所

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金（手持現金）	535,735	260,762	274,973
普通預金（マインズ農業協同組合調布支店）	74,512	262,728	-188,216
普通預金（みずほ銀行調布支店）	71,239	122,915	-51,676
普通預金（三井住友銀行調布駅前支店）	243,258	918,922	-675,664
普通預金（三菱東京UFJ銀行調布支店）	449,569	65,923	383,646
普通預金（多摩中央信用金庫）	313	313	0
未収入金（出向者負担金他）	824,472	0	824,472
立替金（世界会議登録料）	131,319	0	131,319
前払費用（事務局賃料前払）	1,450,000	0	1,450,000
流動資産合計	3,780,417	1,631,563	2,148,854
2 固定資産			
(1) 特定資産			
基本特定預金	0	3,000,000	-3,000,000
周年事業特定預金	400,000	200,000	200,000
事務局取得資金特定預金	7,800,000	7,400,000	400,000
特定資産合計	8,200,000	10,600,000	-2,400,000
(2) その他固定資産			
建物附属設備	1,477,890	0	1,477,890
什器備品	144,900	217,350	-72,450
電話加入権	145,600	145,600	0
その他固定資産合計	1,768,390	362,950	1,405,440
固定資産合計	9,968,390	10,962,950	-994,560
資産合計	13,748,807	12,594,513	1,154,294
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金（印刷製本費他）	735,797	0	735,797
流動負債合計	735,797	0	735,797
負債合計	735,797	0	735,797
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	13,013,010	12,594,513	418,497
正味財産合計	13,013,010	12,594,513	418,497
負債及び正味財産合計	13,748,807	12,594,513	1,154,294

計算書類に付する注記

1、重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理方法は、税込方式によっている。

2、前払費用明細

(単位:円)

資産の内容	支出額	支払年月日	支払効力期間	前期末帳簿価額	当期費用計上額	期末帳簿価額
事務局賃貸料	1,500,000	平成24年11月1日	平成24年11月1日～平成29年10月31日(60月)	0	50,000	1,450,000
合計	1,500,000			0	50,000	1,450,000

3、その他固定資産明細

(単位:円)

資産の種類	取得価額	事業供用日	耐用年数	償却率	前期末帳簿価額	当期償却額	期末帳簿価額	当期末償却累計額
建物附属設備								
事務所内装設備	974,580	平成24年11月1日	10年	0.1	0	16,243	958,337	16,243
給排水工事	289,170	平成24年11月1日	15年	0.067	0	3,229	285,941	3,229
電気設備工事	236,250	平成24年11月1日	15年	0.067	0	2,638	233,612	2,638
建物附属設備計	1,500,000				0	22,110	1,477,890	22,110
什器備品								
カラープリンター	362,250	平成22年12月1日	5年	0.2	217,350	72,450	144,900	217,350
什器備品計	362,250				217,350	72,450	144,900	217,350
電話加入権								
一基	145,600	不明	—	—	145,600	—	145,600	—
電話加入権計	145,600				145,600	—	145,600	—
合計	2,007,850				362,950	94,560	1,768,390	239,460

上記の他、以下の固定資産を帳簿価額ゼロ円にて使用している。

資産の種類	取得価額	当期末償却累計額	期末帳簿価額
倉庫	370,000	370,000	0
長尺プリンター	126,429	126,429	0
パイプ椅子他	85,974	85,974	0
合計	582,403	582,403	0

平成24年度（公社）調布青年会議所収支計算書
自平成24年1月4日～至平成24年12月31日

単位(：円)

I. 収入の部

勘定科目 大 中 小	補正 予算額	決算額	増 減	備 考		
				主な内容	予算額	決算額
1. 会費収入	9,387,250	9,053,000	-334,250	正会員会費	6,960,000	6,840,000
1. 会費収入	9,387,250	9,053,000	-334,250	新入会員会費	1,350,000	1,440,000
1. 会費収入	9,387,250	9,053,000	-334,250	賛助会員会費	900,000	670,000
				日本JC出向負担金	40,000	40,000
				ブロック出向負担金	47,250	63,000
2. 入会金収入	375,000	400,000	25,000	新入会員	375,000	400,000
1. 入会金収入	375,000	400,000	25,000			
1. 入会金収入	375,000	400,000	25,000			
3. 事業収入	400,000	419,000	19,000	わんぱく相撲	400,000	419,000
1. 事業収入	400,000	419,000	19,000			
1. 事業収入	400,000	419,000	19,000			
4. 預金収入	1,000	1,955	955	預金利息収入	1,000	1,955
1. 預金収入	1,000	1,955	955			
1. 預金収入	1,000	1,955	955			
5. 雑収入	1,140,000	1,260,310	120,310	シニアクラブ通信負担金(Fネッ	0	0
1. 雑収入	1,140,000	1,260,310	120,310	シニアクラブ郵送負担金発送物	140,000	139,370
1. 雑収入	1,140,000	1,260,310	120,310	シニアクラブ名簿負担金名簿作成	80,000	53,280
				その他(祝金,自販機手数料)	170,000	207,660
				納会例会 シニアクラブ登録料	200,000	90,000
				新春懇談会(来訪JC)	300,000	520,000
				新春懇談会(シニア負担金)	150,000	150,000
				シニアクラブ合同懇親会(シニア負	100,000	100,000
6. 積立金取崩収入	0	0	0			
1. 雑収入	0	0	0			
1. 周年事業積立金	0	0	0			
当期収入合計	11,303,250	11,134,265	-168,985			
前期繰越収入合計	1,631,563	1,631,563	0			
収入合計	12,934,813	12,765,828	-168,985			

II. 支出の部

単位(：円)

勘定科目 大 中 小	補正 予算額	決算額	増 減	備 考		
				主な内容	予算額	決算額
1. 事業費	6,110,000	5,465,214	-644,786			
1. 給料手当	0	0	0			
1. 給料手当	0	0	0			
2. 文化まちづくり事業費	2,540,000	2,358,434	-181,566			
1. 諸謝金	520,000	947,840	427,840			
2. 消耗品費	750,000	378,637	-371,363			
3. 通信運搬費	450,000	181,320	-268,680	内、事務局印刷機使用		91,134
4. 印刷製本費	560,000	513,899	-46,101			
5. 旅費交通費	110,000	6,000	-104,000			
6. 賃借料	150,000	330,738	180,738			
3. 産業経済事業費	100,000	97,411	-2,589			
1. 諸謝金	30,000	0	-30,000			
2. 消耗品費	30,000	81,328	51,328			
3. 通信運搬費	2,000	263	-1,737	内、事務局印刷機使用		0
4. 印刷製本費	38,000	14,400	-23,600			
5. 旅費交通費	0	0	0			
6. 賃借料	0	1,420	1,420			
4. 青少年健全育成事業費	2,370,000	2,000,385	-369,615			
1. 諸謝金	200,000	346,187	146,187			
2. 消耗品費	1,490,000	974,416	-515,584	内、事務局印刷機使用		30,724
3. 通信運搬費	130,000	48,152	-81,848			
4. 印刷製本費	350,000	359,332	9,332			
5. 旅費交通費	200,000	136,500	-63,500			
6. 賃借料	0	135,798	135,798			
5. 指導力等研究実践事業費	1,100,000	1,008,984	-91,016			
1. 諸謝金	200,000	237,407	37,407			
2. 消耗品費	450,000	644,227	194,227	内、事務局印刷機使用		30,000
3. 通信運搬費	50,000	0	-50,000			
4. 印刷製本費	250,000	116,500	-133,500			
5. 旅費交通費	50,000	0	-50,000			
6. 賃借料	100,000	10,850	-89,150			
2. 管理費	5,843,350	5,105,994	-737,356	2. 総会資料印刷代	70,000	64,050
1. 事務費	3,045,350	2,872,069	-173,281	2. 会員名簿作成代	220,000	220,000
1. 消耗品費	200,000	105,813	-94,187	2. 印刷機保守・カウンター	150,000	143,354
2. 印刷製本費	675,000	637,504	-37,496	2. 定款印刷製本費	235,000	0
3. 通信運搬費	400,000	432,835	32,835	4. 什器備品等購入支出	175,000	148,940
4. 什器備品費	225,000	148,940	-76,060	5. LOM登録料等	50,000	7,700
5. 負担金支出	1,305,350	1,188,008	-117,342	5. 日本JC基本金	45,000	45,000
6. 雑費	240,000	358,969	118,969	5. 日本付加金	598,600	548,558
				5. 購読料	219,000	206,250
				5. 日本出向負担金	40,000	40,000
				5. 関東地区基本金	10,000	10,000
				5. 関東地区付加金	36,500	32,500
				5. ブロック基本金	40,000	40,000
				5. ブロック出向負担金	47,250	63,000
				5. ブロック付加金	219,000	195,000
				6. JC保険料	0	0
				6. ネームプレート	120,000	107,109
				6. 税理士顧問料	120,000	120,000
2. 事務局経費	205,000	182,805	-22,195	2. 片桐倉庫賃料 2500円月 11～12		5,000
1. 給料手当	0	0	0			
2. 賃借料	5,000	5,000	0			
3. 水道光熱費	150,000	155,055	5,055			
4. 雑費	50,000	22,750	-27,250			
3. その他の管理費	2,593,000	2,051,120	-541,880	1. 褒章委員会費	50,000	50,000
1. 消耗品費	133,000	100,715	-32,285	1. 卒業記念品	63,000	50,715
2. 諸費	2,460,000	1,950,405	-509,595	1. その他の消耗品費	20,000	0
				2. 新春地域懇談会	700,000	590,579
				2. 納会	1,110,000	986,932
				2. 公務費・その他(慶弔類)	300,000	104,486
				2. シニア合同懇談会	300,000	265,458
				2. 会員拡大の調査研究	50,000	2,950
3. 積立金支出	600,000	600,000	0			
1. 周年事業積立支出	200,000	200,000	0			
1. 周年事業積立支	200,000	200,000	0			
2. 事務局建設積立金支出	400,000	400,000	0			
2. 事務局建設積立	400,000	400,000	0			
4. 予備費	381,463	0	-381,463			
1. 予備費	381,463	0	-381,463			
1. 予備費	381,463	0	-381,463			
当期支出合計	12,934,813	11,171,208	-1,763,605			
当期収支差額	-1,631,563	1,594,620	3,226,183			
次期繰越収支差額	0	1,594,620	1,594,620			

10765事務局印刷
3520事務局印刷
2950事務局印刷

平成24年度 社団法人 調布青年会議所
収支予算事業費内訳表

2. 文化まちづくり事業費									
	あすの調布の発行		HPの管理・更新		調布市民討論会の実施				
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額			
諸謝金	0		0		220,000	422,840			
消耗品費	0		140,000	73,500	160,000	85,411			
通信運搬費	40,000	45,000	60,000	53,445	250,000	51,690			
印刷製本費	160,000	88,875	0		250,000	77,500			
事務局印刷費		9,000				76,444			
旅費交通費	0		0		0	6,000			
賃借料	0		0		50,000	106,100			
合計	200,000	142,875	200,000	126,945	930,000	825,985			
	福祉まつりの参画		人を想う心、優しさと笑顔に満ち溢れた社会となる為の事業の開催		東日本大震災 慰霊祭の実施		小計		
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
諸謝金	0		200,000	525,000	100,000		520,000	947,840	
消耗品費	30,000	20,000	250,000	1,583	170,000	198,143	750,000	378,637	
通信運搬費	0		100,000	31,185	0		450,000	181,320	
印刷製本費	0		150,000	149,400	0	106,990	560,000	422,765	
事務局印刷費						5,690		91,134	
旅費交通費	0		0		110,000		110,000	6,000	
賃借料	0		100,000	85,650	0	138,988	150,000	330,738	
合計	30,000	20,000	800,000	792,818	380,000	449,811	2,540,000	2,358,434	

3. 産業経済事業費				
	地域産業の発展と共に【入りが調布を好きになる】、地域ぐるみの活性化を図る事業の実施「青年経済人会議」		小計	
	予算額	決算額	予算額	決算額
諸謝金	30,000		30,000	0
消耗品費	30,000	81,328	30,000	81,328
通信運搬費	2,000	263	2,000	263
印刷製本費	38,000	14,400	38,000	14,400
事務局印刷費				0
旅費交通費	0		0	0
賃借料	0	1,420	0	1,420
合計	100,000	97,411	100,000	97,411

4. 青少年健全育成事業費									
	わんぱく相撲調布場所の開催		子ども達の笑顔を望み、「相手を想う心」を伝え「心の教育」行う為の事業の開催		他団体事業の参画・協力		小計		
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
諸謝金	100,000	126,665	100,000	211,110	0	8,412	200,000	346,187	
消耗品費	590,000	702,807	400,000	128,546	500,000	143,063	1,490,000	974,416	
通信運搬費	80,000	12,040	50,000	5,512	0	30,600	130,000	48,152	
印刷製本費	200,000	87,675	150,000	109,000	0	131,933	350,000	328,608	
事務局印刷費		26,384				4,340		30,724	
旅費交通費	200,000	136,500	0		0		200,000	136,500	
賃借料	0		0	114,168	0	21,630	0	135,798	
合計	1,170,000	1,092,071	700,000	568,336	500,000	339,978	2,370,000	2,000,385	

5. 指導力等研究実践事業費						
	公益事業の開催を通じ、その過程の中で、JCの可能性を知り、メンバーの成長を得る事業の開催		ソーシャルネットワーク活用方法に関する調査・研究・発信		小計	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
諸謝金	50,000	78,437	150,000	158,970	200,000	237,407
消耗品費	450,000	613,492		30,735	450,000	644,227
通信運搬費	50,000				50,000	0
印刷製本費	200,000	86,500	50,000		250,000	86,500
事務局印刷費		15,000		15,000		30,000
旅費交通費	0		50,000		50,000	0
賃借料	50,000		50,000	10,850	100,000	10,850
合計	800,000	793,429	300,000	215,555	1,100,000	1,008,984